

令和元年度  
第五次総合計画 アウトカム別指標

実績報告書

館 林 市

## 目 次

	ページ
はじめに	1
I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち	2～7
II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち	8～15
III 心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち	16～19
IV 子どもたちが健やかに成長できるまち	20～21
V 学ぶよろこびや豊かな心を育むまち	22～24
VI 便利で快適な住みやすいまち	25～30
VII 出会いと交流のある元気で活力のあるまち	31～38
VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち	39～43
一 覧	44～49

## はじめに

### 1 目的

この指標の実績調査は、第五次総合計画において、各施策目的に設定した全指標の実績を把握し、今後の総合計画を推進していくうえで、目標にするためのものです。

### 2 結果

これまでに報告された実績を取りまとめたほか、平成30年度の結果には、各課からの報告実績を集計したものを掲載しました。

基準値からの目標の方向性に対する結果は表のとおりとなります。

#### ■指標達成率:56.8%

内 訳	指 標 数
○アウトカム指標	
目標の方向性に概ね合致している指標	46
目標の方向性に合致していない指標	35
合 計	81
○評価指標から除外した指標	
市民活動調査	27
出典元となる統計調査等の集計年次でなかった指標	12

※集計方法の変更により、当初の基準値との整合性が取れないものもあります。

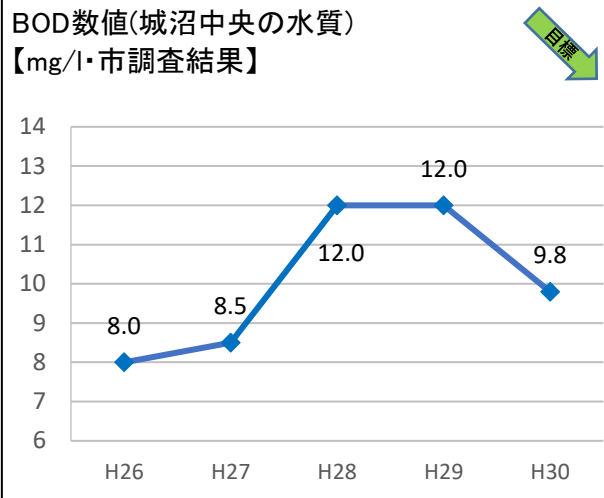
### 3 対応

目標の方向性に合致しなかった事業につきましては、施策の見直しを行う等の改善を行います。また、合致した事業につきましても、更なる改善に努めていきます。

# 第五次総合計画アウトカム別指標リスト 結果

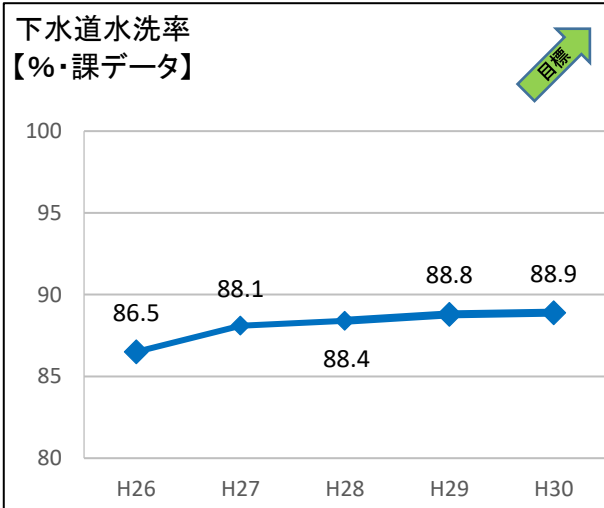
## 基本目的Ⅰ「より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち」

### ◆施策目的01「良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる」



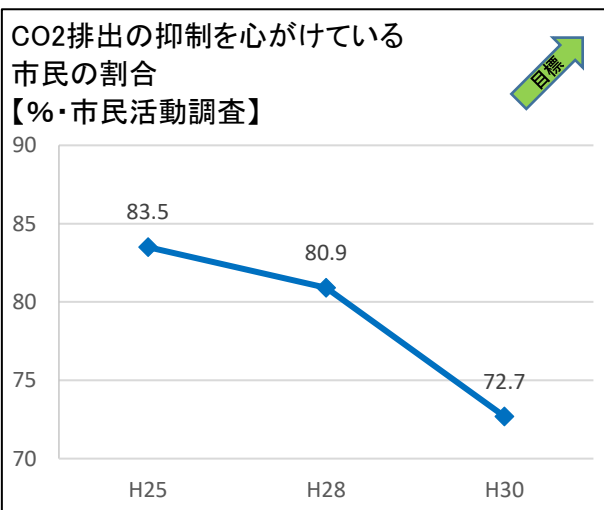
【担当】  
地球環境課

【今後の対応等のコメント】  
合併処理浄化槽への転換に対する補助件数が減少傾向のため、補助対象の拡大を検討するとともに、水質浄化の啓発を図る。

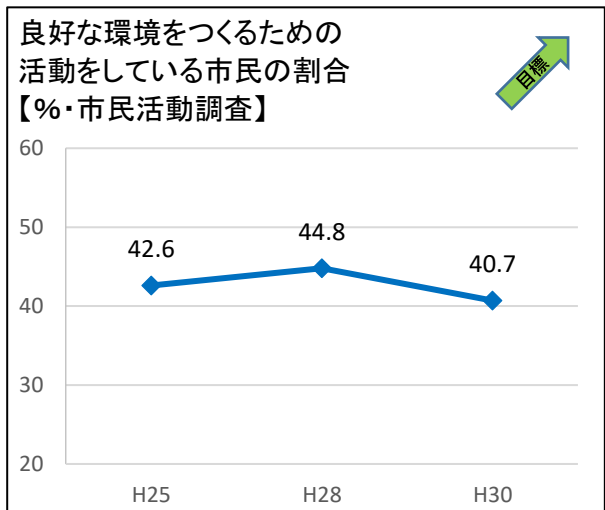


【担当】  
下水道課

【今後の対応等のコメント】  
計画的な污水管整備により水洗化率が上昇した。今後も整備を推進していく。



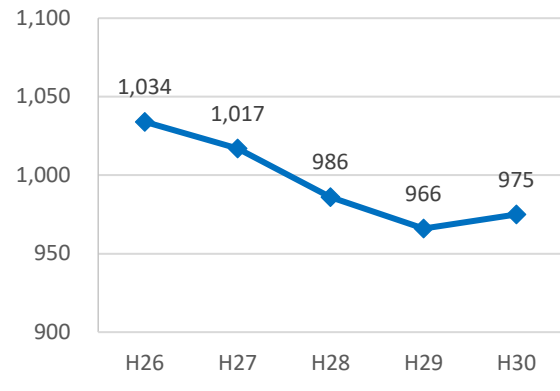
【市民活動調査結果】



【市民活動調査結果】

◆施策目的02「ごみを減らし、資源を生かすまちになる」

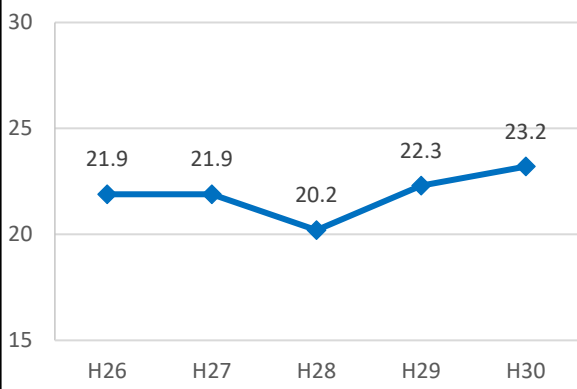
市民一人あたりごみの排出量  
【g/日・課データ】



【担当】  
地球環境課

【今後の対応等のコメント】  
以前より家庭や事業所における3Rの取組が進んでいるが、家庭系の排出量は前年度より増加したため、より具体的な減量方法を周知していく。

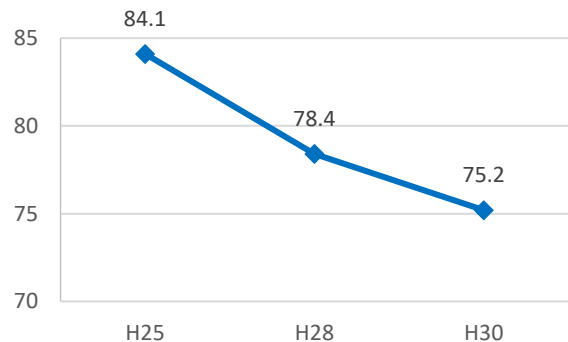
資源化率【%・課データ】



【担当】  
地球環境課

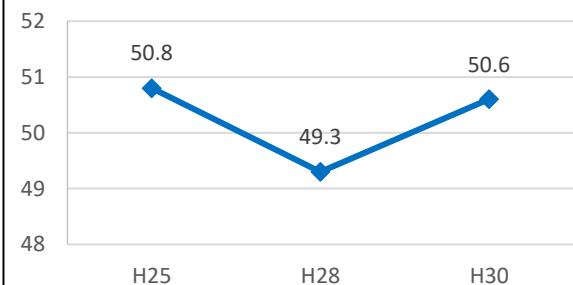
【今後の対応等のコメント】  
焼却灰の資源化を開始したことが資源化率向上の一因となった。今後も資源物の分別排出の徹底を周知していく。

ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

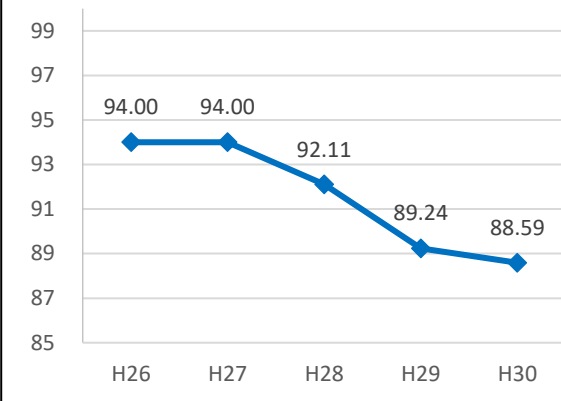
地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的03「安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる」

有効率(有効水量/総配水量)  
【%・企業団データ】



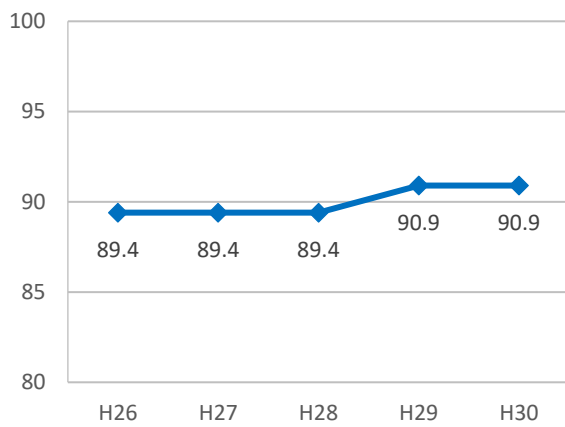
【担当】  
群馬東部水道企業団

【今後の対応等のコメント】  
水道管の劣化により漏水量が増加したため、有効率が減少した。  
今後、計画的に老朽管の布設替を進める。

◆施策目的04「災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる」

自主防災組織設置率

【%・課データ】

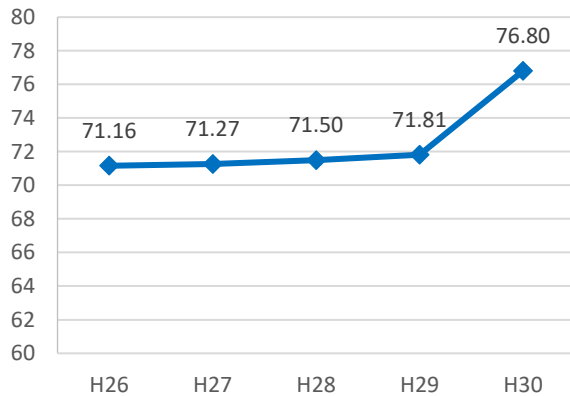


【担当】  
安全安心課

【今後の対応等のコメント】  
行政区との連携や防災啓発事業の展開により、組織率の向上を図る。

幹線排水路の整備率

【%・幹線排水路整備率一覧表  
(準用河川除く)】

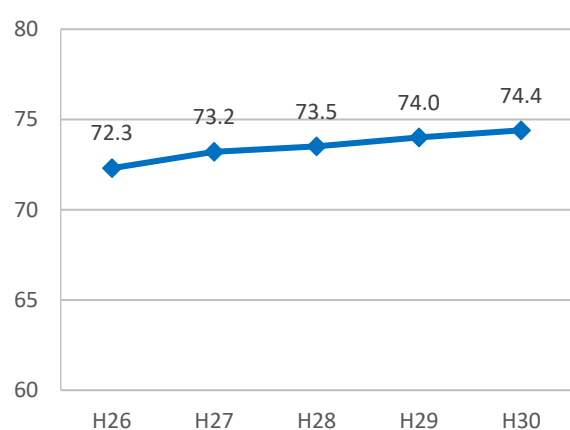


【担当】  
道路河川課

【今後の対応等のコメント】  
計画的な整備改修により整備率が上昇した。  
今後も計画的な整備を推進する。

公共下水道雨水きよの整備率

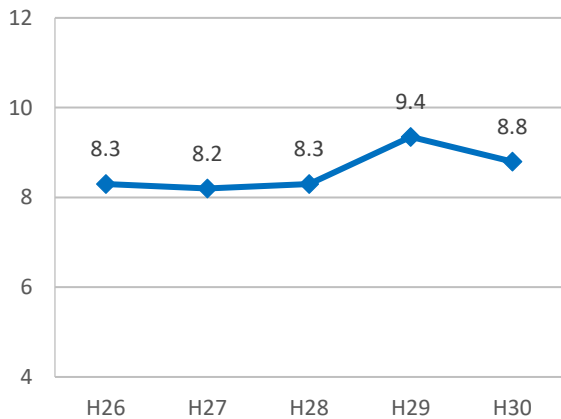
【%・課データ】



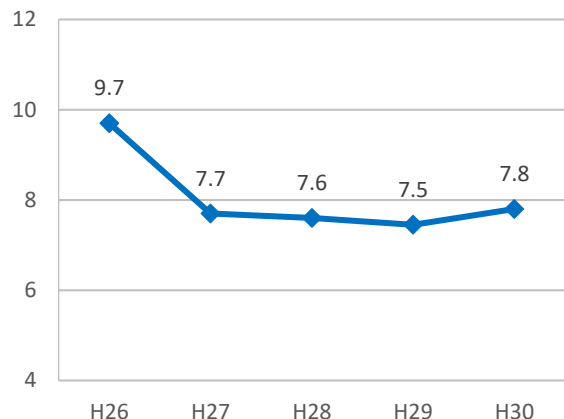
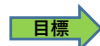
【担当】  
下水道課

【今後の対応等のコメント】  
計画的な整備により整備率が上昇した。  
今後も整備を推進していく。

消防車の平均到着時間  
【分・消防組合指令室データ】



救急車の平均到着時間  
【分・救急統計データ】

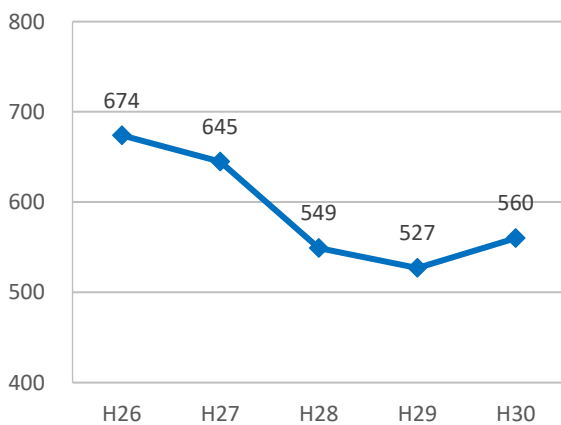


【担当】  
館林地区消防組合

【今後の対応等のコメント】

消防車の平均到着時間については、各署から現場までの距離が遠い等の理由による。出動訓練を通じて時間短縮に努める。  
また、救急車の平均到着時間については、119覚知時に関する解釈の変更に伴い、短縮。出動訓練を重ね、更なる短縮を図る。

刑法犯認知件数  
【件・市町村別刑法犯認知件数】

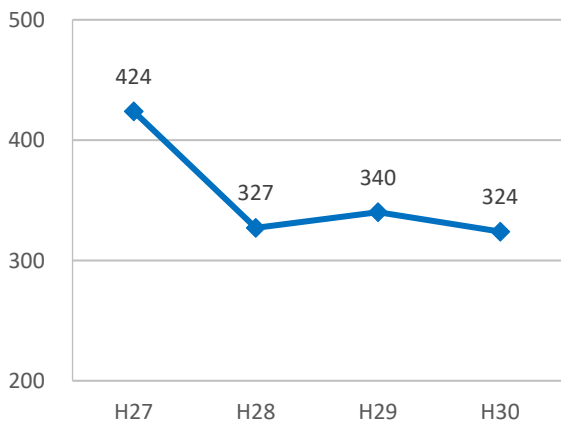


【担当】  
安全安心課

【今後の対応等のコメント】

刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、振り込め詐欺等の特殊詐欺の被害が増加傾向にある。今後も関係機関と連携して啓発活動等を実施し、更なる減少を図る。

交通事故発生件数  
【件・館林警察署】



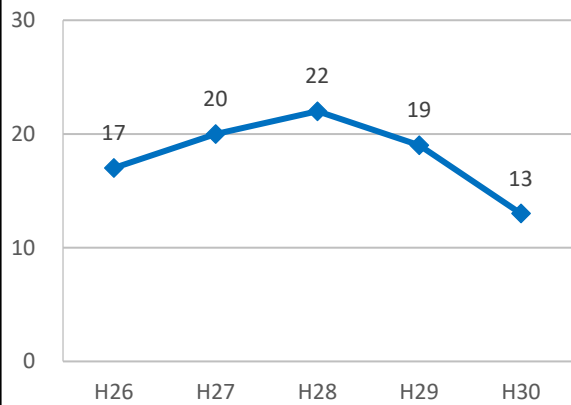
【担当】  
安全安心課

【今後の対応等のコメント】

近年、交通事故件数は減少傾向にあるが、今後とも関係機関と連携した啓発事業の実施及び交通安全施設整備等により交通事故抑止を図る。



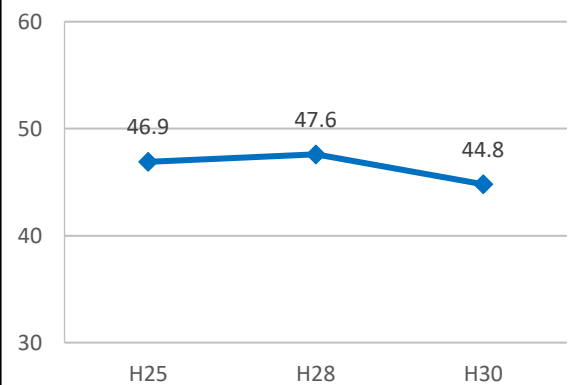
消費生活センター出前講座回数  
【件・消費生活センター事業概要】



【担当】  
市民協働課

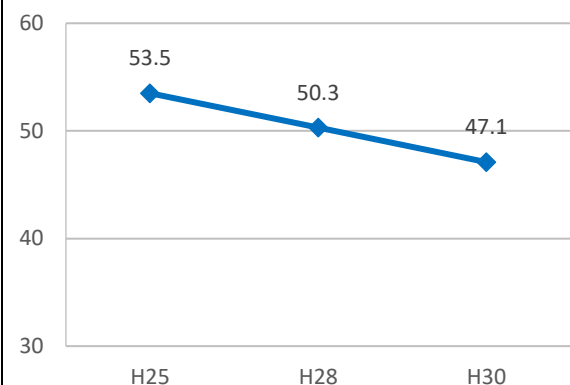
【今後の対応等のコメント】  
前年度と比較して減少した。消費者トラブルの防止のため、出前講座の周知に努め、要請に応じ講座を実施する。

災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合  
【%・市民意識調査】



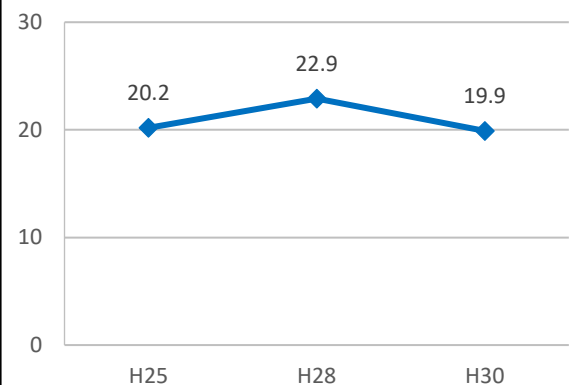
【市民活動調査結果】

ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合  
【%・市民意識調査】



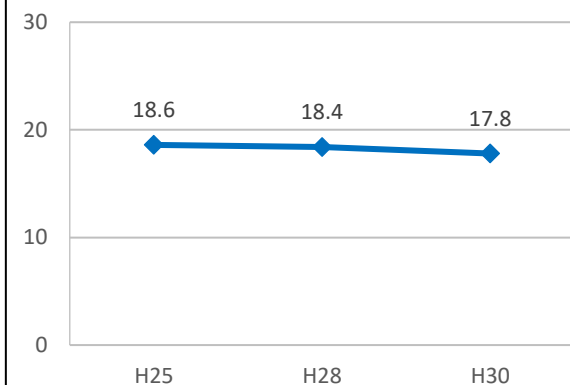
【市民活動調査結果】

自主防災組織などに参加している市民の割合  
【%・市民意識調査】



【市民活動調査結果】

地域ぐるみで自主防犯活動などを行っている市民の割合  
【%・市民意識調査】

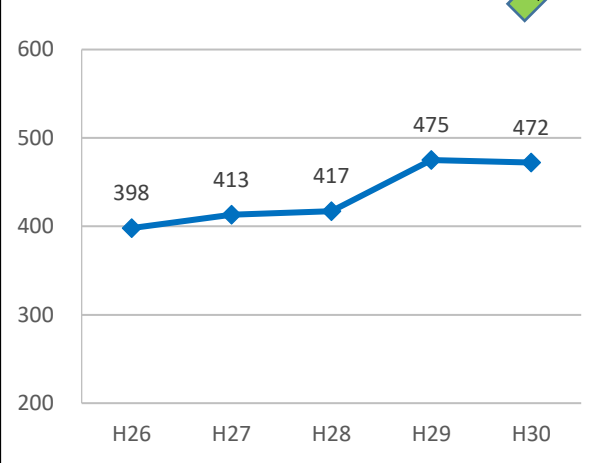


【市民活動調査結果】

## 基本目的Ⅱ「思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち」

### ◆施策目的05「地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる」

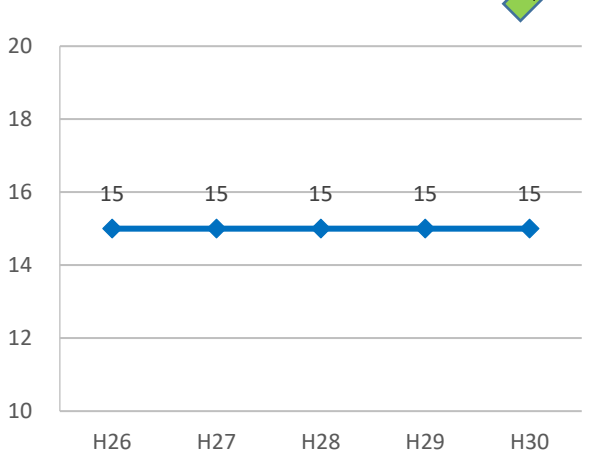
福祉ボランティア登録者数  
【人・社会福祉協議会】



【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
ボランティアサークル連絡会の新規加入者を増やすため、活動内容を周知し普及の促進を図る。

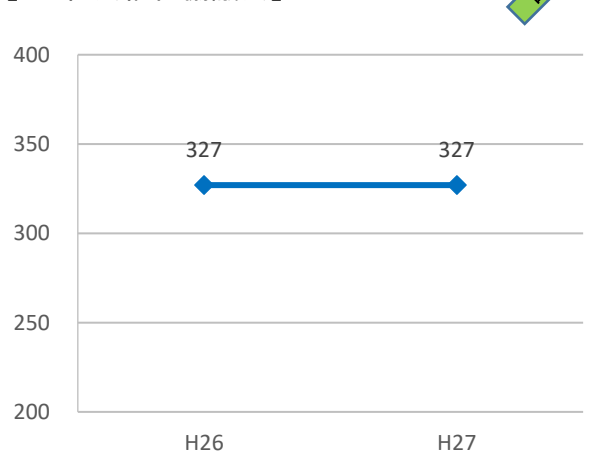
福祉NPO法人数  
【法人・社会福祉協議会】



【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
法人数の変更はなし。今後も継続して支援を行っていく。

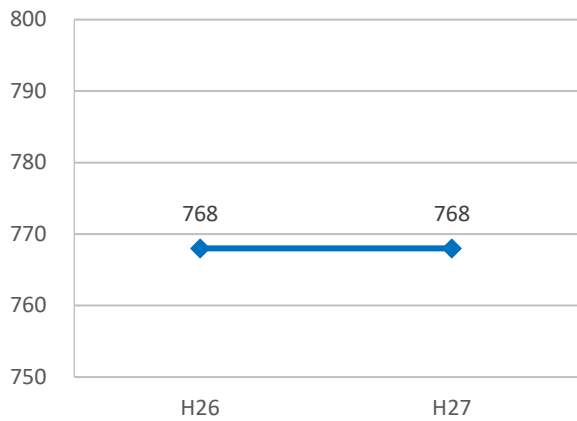
小地域ネットワーク設置数  
【人・社会福祉協議会】



【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
地域共生社会との事業調整のため、平成28年度以降の実績なし。

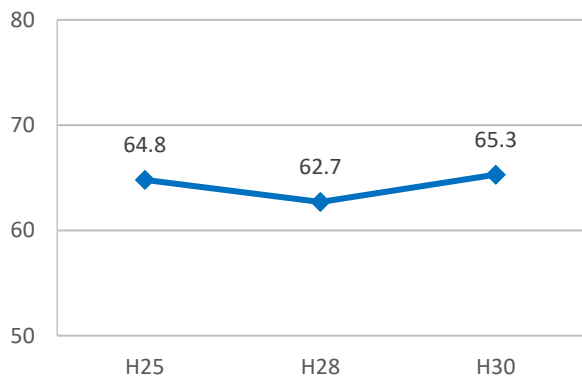
小地域ネットワーク協力者数  
【人・社会福祉協議会】



【担当】  
社会福祉課

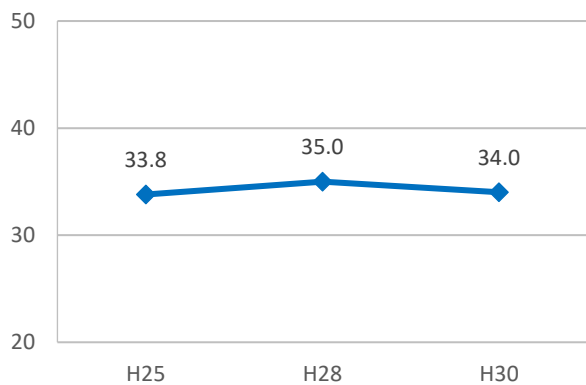
【今後の対応等のコメント】  
地域共生社会との事業調整のため、平成28年度以降の実績なし。

地域のなかで相談したり、助け合える  
友人・知人がいる市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

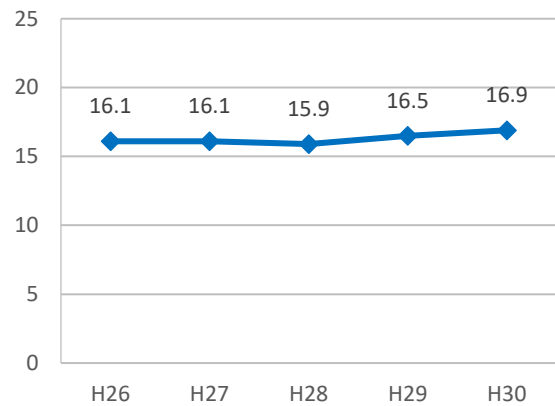
地域の困った問題を、近所で協力して  
取り組んでいる市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的06「高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる」

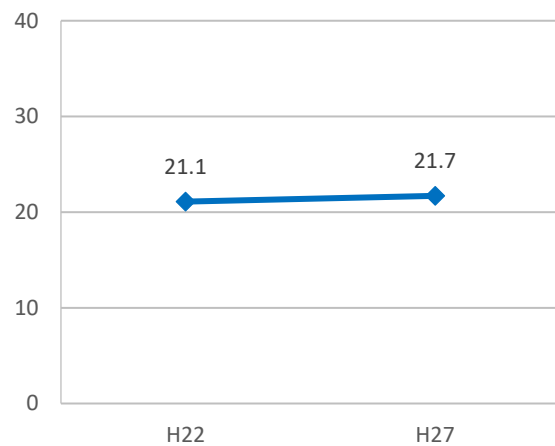
第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合  
【%・住民基本台帳(65歳以上人口)】



【担当】  
介護保険課

【今後の対応等のコメント】  
高齢化の進行により、2025年問題などを見据え、今後も高齢者の自立支援と重度化防止対策を継続していく。

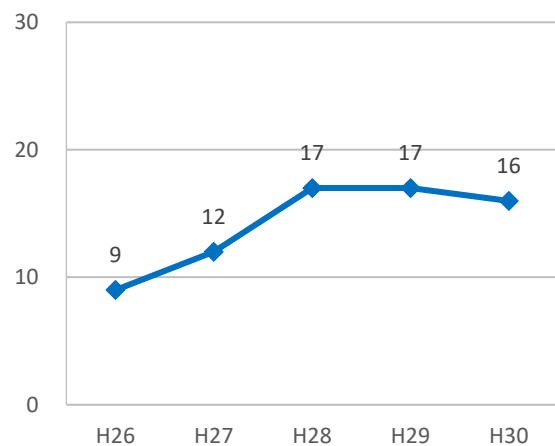
高齢者の就業割合  
【%・国勢調査】



【担当】  
高齢者支援課

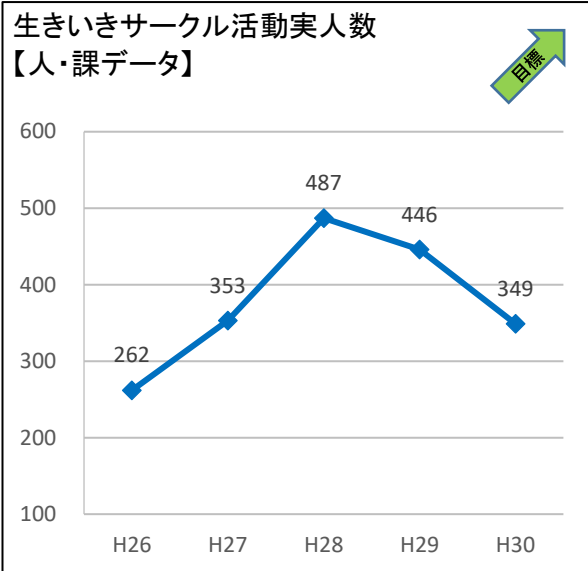
※出典元の統計調査等の集計年次ではないため、平成30年度データなし。

生きいきサークル活動団体数  
【団体・課データ】



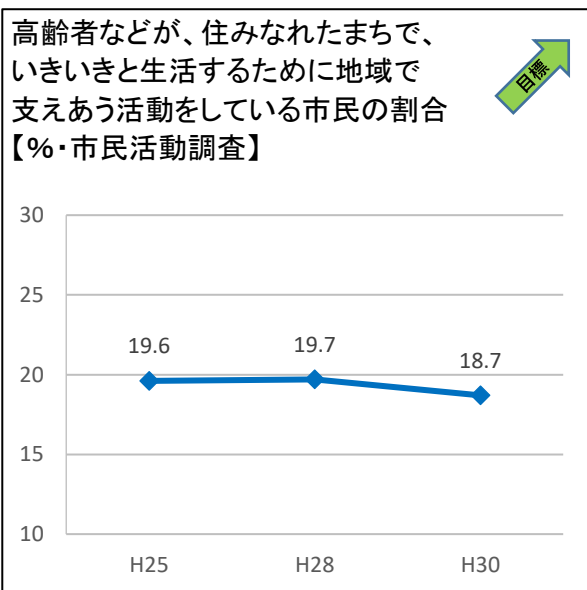
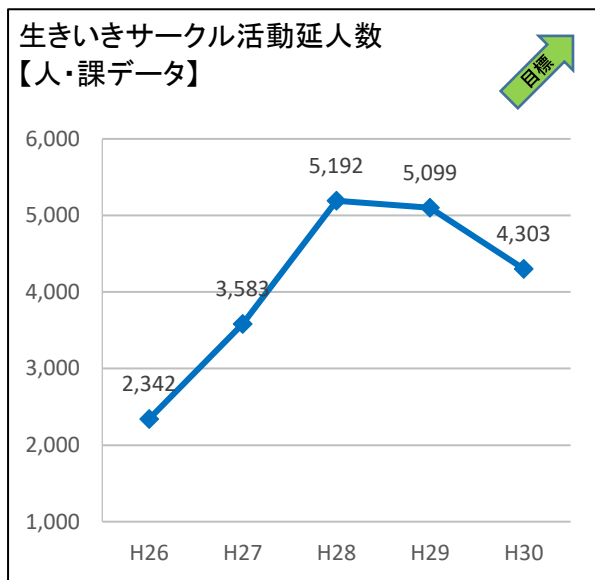
【担当】  
高齢者支援課

【今後の対応等のコメント】  
生きいきサークル数は、前年度と比べ横ばいを示している。参加者数が減少傾向を示しているため、参加者の自立支援と参加促進を図っていく。



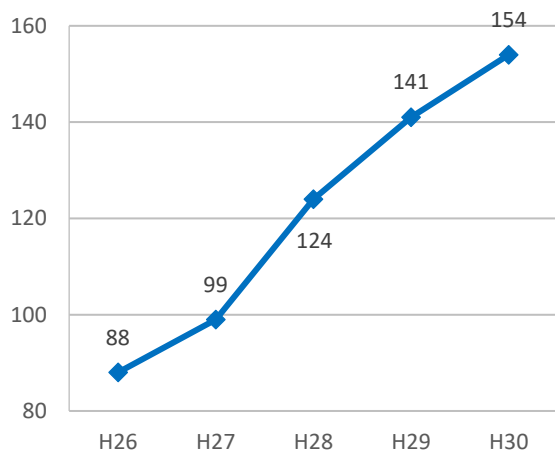
**【担当】**  
高齢者支援課

**【今後の対応等のコメント】**  
参加者の高齢化に伴い、生きいきサークル参加者が減少傾向にある。そのため、市の介護予防教室の卒業生の参加促しや、いつでもどこでも行える「生きいき百歳体操」の普及を図る。

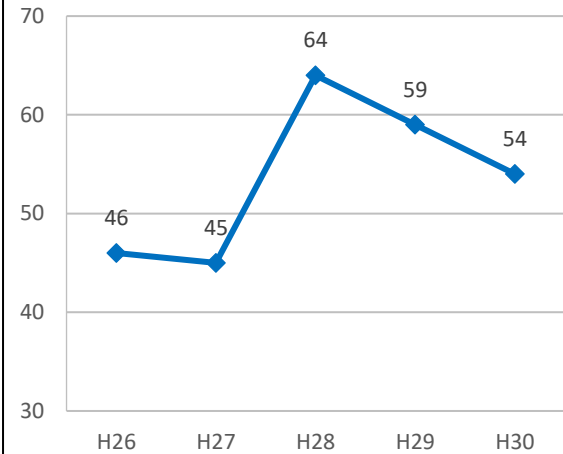


**【市民活動調査結果】**

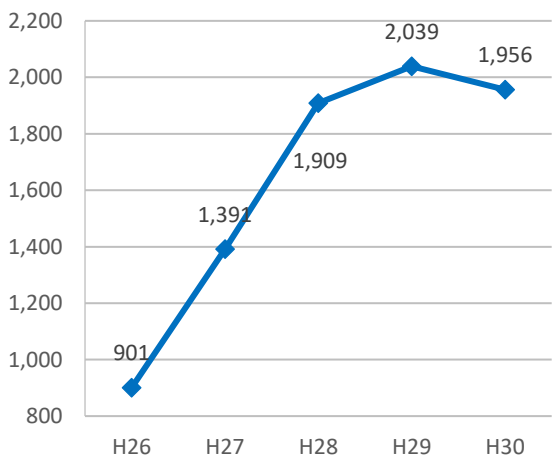
介護支援ボランティア活動人数  
(登録人員)【人・課データ】



介護支援ボランティア活動人数  
(活動実人数)【人・課データ】



介護支援ボランティア活動人数  
(活動延人数)【人・課データ】

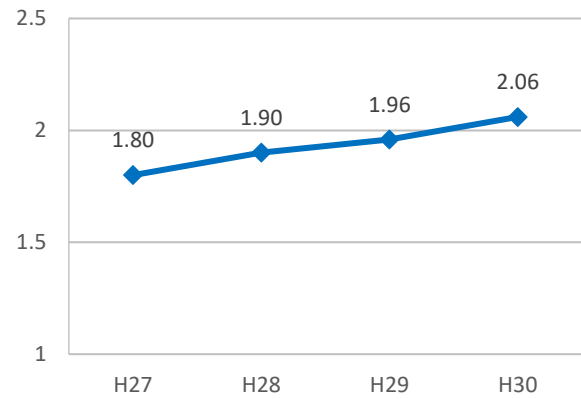


【担当】  
高齢者支援課

【今後の対応等のコメント】  
毎年開催される介護予防サポーター養成研修の受講者が、受講後、介護支援ボランティアに登録しているため、活動実人数、活動延人数ともに増加している。一方、活動実人数は昨年度から減少しており、ボランティア活動から離れている方に再度呼びかけを行い、フォローアップ等を行う。

◆施策目的07「障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる」

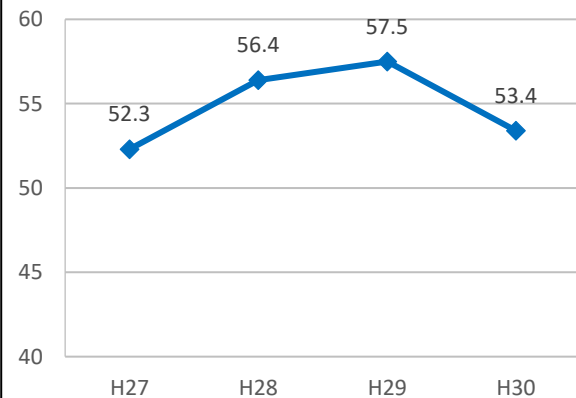
民間企業における障がい者の実雇用率【%・群馬労働局報道発表資料】



【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
従業員に占める障がい者の割合（雇用率）は、前年比0.10ポイント増の2.06%で、過去最高になっている。19年ぶりに全国平均（2.05%）を上回り、全国順位は前年の37位から33位に上がった。

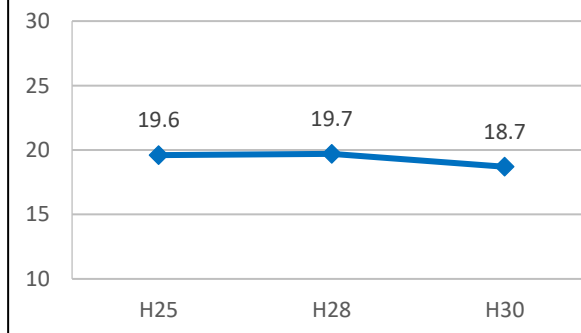
法定雇用率達成企業の割合【%・群馬労働局発表報道資料】



【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
従業員45.5人以上の企業には法定雇用率（2.2%）が義務づけられており、県内の対象企業は1,544社。法定雇用率達成企業は、前年比4.1ポイント減の53.4%で、平成30年4月に法定雇用率が引き上げられたことが影響している。

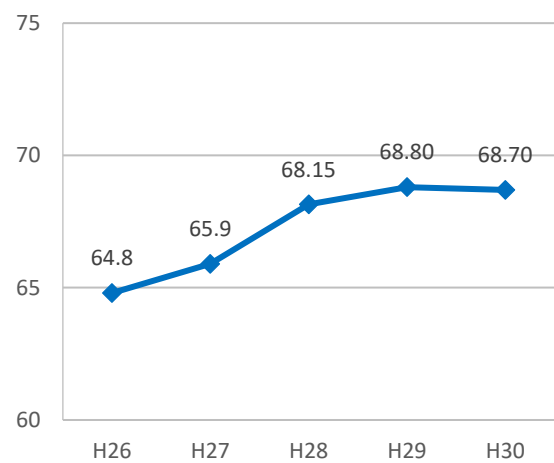
障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的08「互いに助けあい、安心して生活できるまちになる」

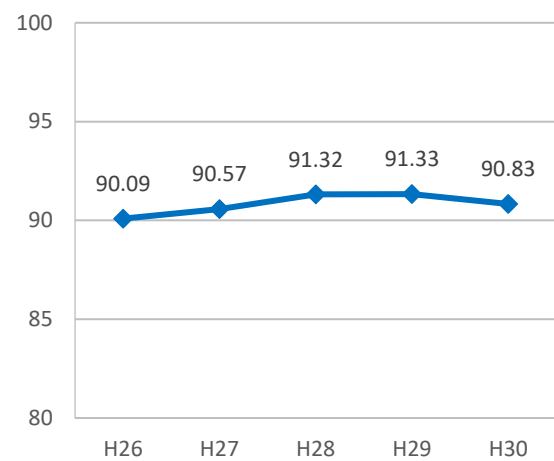
国民年金保険料納付率  
【%・太田年金事務所】



【担当】  
保険年金課

【今後の対応等のコメント】  
引き続き納付を促進する。

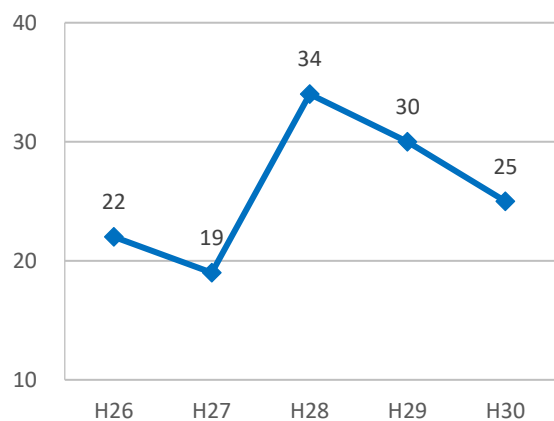
国民健康保険税収納率  
【%・国民健康保険特別会計決算】



【担当】  
保険年金課

【今後の対応等のコメント】  
新規に発生した滞納案件への早期着手、早期の滞納整理の徹底、適切な納税緩和措置の適用を今後も実施していく。

生活保護受給世帯から  
自立した世帯数  
【世帯・被保護者調査】

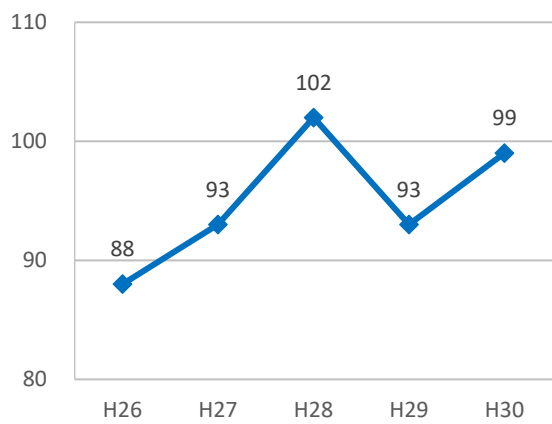


【担当】  
社会福祉課

【今後の対応等のコメント】  
平成26年度の自立世帯数22世帯のうち就労収入増を理由とする世帯数は、14世帯であった。平成30年度の自立世帯数25世帯のうち同理由の実績は、12世帯となった。今後も就労支援等の事業を継続し、保護受給世帯からの自立に向けた支援を行っていく。



児童扶養手当受給者のうち  
自立した受給者数  
【人・福祉行政報告例】



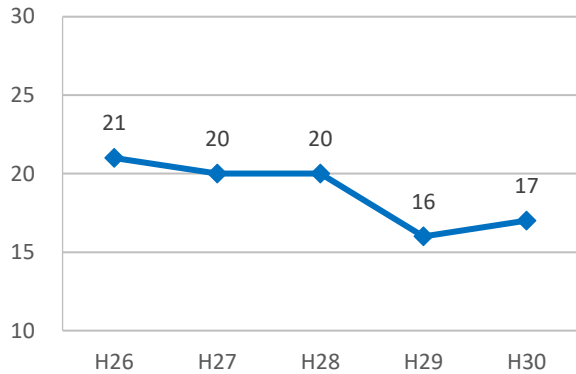
【担当】  
こども福祉課

【今後の対応等のコメント】  
児童扶養手当を受給するには、所得制限があるが、所得制限を超える方が増えたためと考えられる。  
今後も、母子・父子家庭の対象者に必要な就業支援及び自立支援を継続して行なっていく。

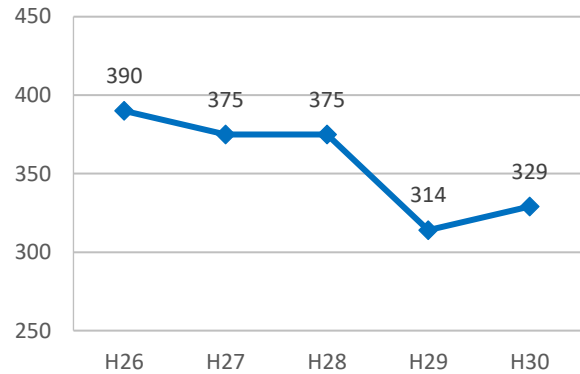
## 基本目的Ⅲ「心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち」

### ◆施策目的09「地域全体で健康づくりに取り組むまちになる」

健康づくりグループ活動団体数  
【団体・課データ】



健康づくりグループ活動人数  
【人・課データ】

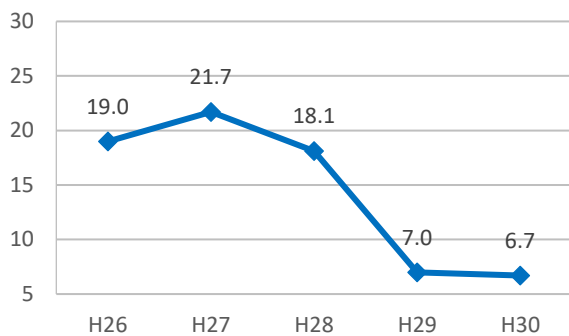


【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】

会員減による活動人数の減少と、それに伴う解散や活動団体の統合等により活動団体数及び活動人数が減少した。今後は、新たに団体の設立支援の強化と、既存の団体の活動支援を行う。

大腸がん検診受診率  
【%・地域保健・健康増進事業報告】

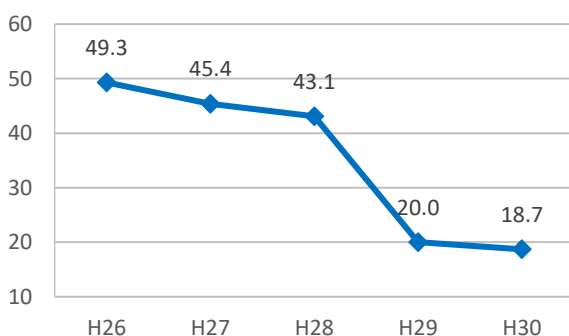


【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】

H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率へ捉え方を変更。受診機会を増やし、好発年齢を中心に再勧奨を行っているが、受診率がなかなか伸びないため、周知啓発を強化し、受診率向上につなげたい。

子宮頸がん検診受診率  
【%・地域保健・健康増進事業報告】



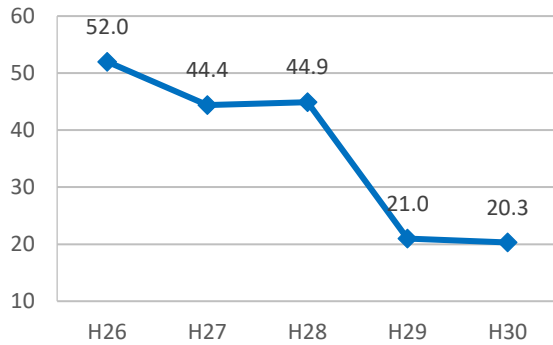
【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】

H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率へ捉え方を変更。集団・個別で実施しているが、受診率がなかなか伸びないため、若年層・好発年齢を中心に効果的な勧奨・再勧奨に努めたい。

### 乳がん検診受診率

【%・地域保健・健康増進事業報告】



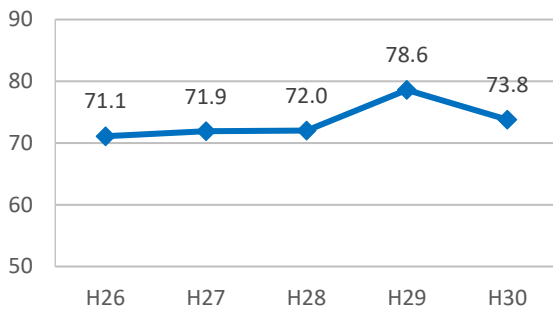
【担当】  
健康推進課

#### 【今後の対応等のコメント】

H29年度実績より、国の方針に従い、人口に対する受診率へ捉え方を変更。集団のみで実施しているが受診率は伸びていないため、好発年齢を中心に効果的な勧奨・再勧奨に努めたい。

### 生活習慣病予防健康診査のうち、 要指導、要医療者の割合

【%・課データ】



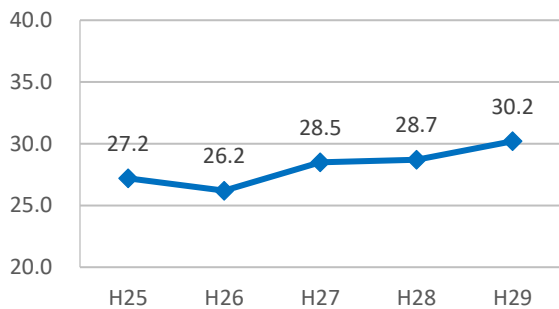
【担当】  
健康推進課

#### 【今後の対応等のコメント】

H29年度と比較して異常なしの割合は増加しているが、要指導・要治療者の4割強に脂質異常が見られた。若年期からの食事・運動等の生活習慣改善に向け、健診結果相談会参加者増の取組に加え、電話等による個別指導の充実に努めたい。

### メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合

【%・国保特定健診法定報告】

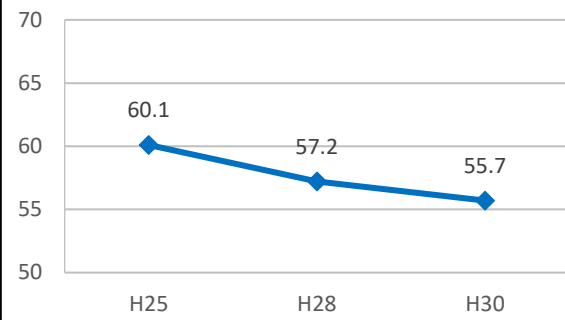


【担当】  
健康推進課

#### 【今後の対応等のコメント】

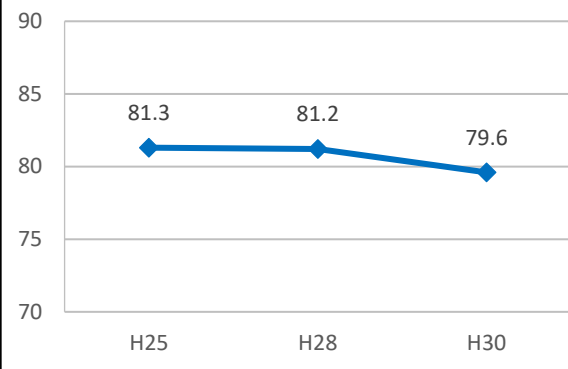
健診の結果相談会や電話、訪問等での指導、特定保健指導への参加誘導等で生活習慣の改善に努めたい。

健康の維持や体を鍛えるために  
運動をしている市民の割合  
【%・市民活動調査】



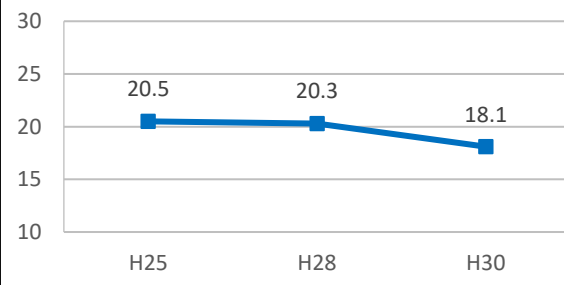
【市民活動調査結果】

定期的に健康診断を受けている  
市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

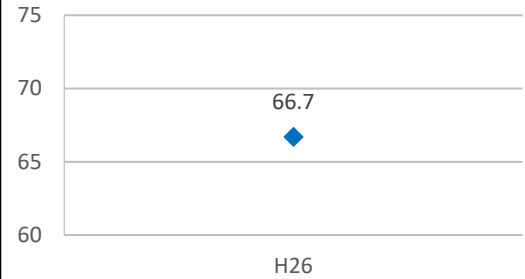
心身ともに元気で暮らせるよう、  
地域の人々とともに健康づくり  
活動をしている市民の割合  
【%・市民活動調査】



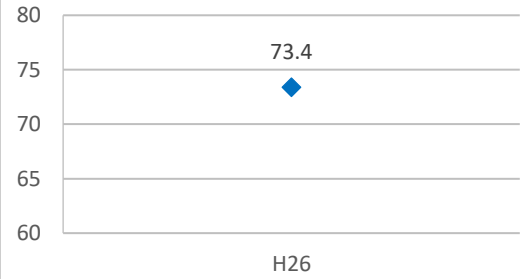
【市民活動調査結果】

◆施策目的10「適切な医療を受けることができるまちになる」

かかりつけ医所持率  
【%・健康づくりに関するアンケート結果】



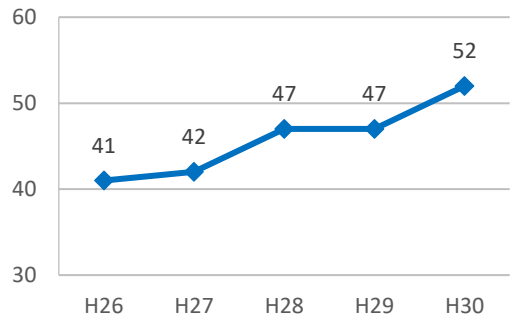
かかりつけ歯科医所持率  
【%・健康づくりに関するアンケート結果】



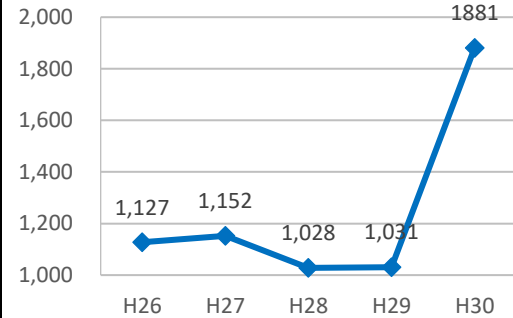
【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】  
H26年10月から、市内の医療機関(医科・歯科)を掲載した「館林市お医者さんマップ」を転入時(市民課窓口)と母子保健手帳発行時に配付。かかりつけ医を持ってもらう一助となるようにしていきたい。

救急救命士の有資格者数  
【人・館林地区消防組合】



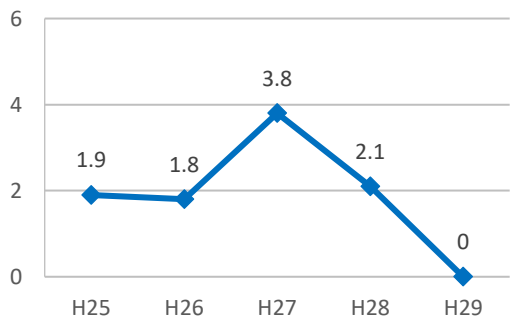
普通救命講習受講者数  
【人・館林地区消防組合】



【担当】  
館林地区消防組合

【今後の対応等のコメント】  
定年や役職変更のバランスを考慮し、救急救命士の有資格者を採用している。  
また、救命講習会が広まり、年間行事として組み込む地域団体や事業所等が増加した結果、普通救命講習受講者が増加した。

周産期死亡率  
【%・健康福祉統計年報(県)】



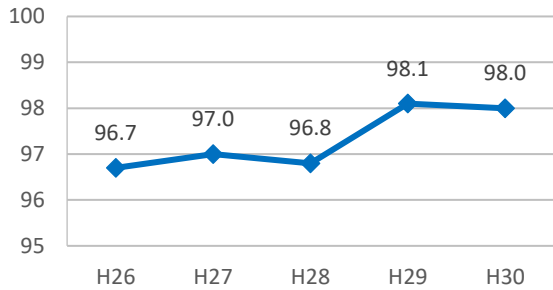
【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】  
妊娠届出時、妊娠後期家庭訪問時、健康相談時には個別に保健指導を実施し、妊婦の健康維持・増進に努める。  
ママパパ学級等では集団で健康教育を実施しており、今後も健康維持、安全な出産に向けた支援を行う。

## 基本目的IV「子どもたちが健やかに成長できるまち」

### ◆施策目的11「子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる」

乳幼児健康診査受診率  
【%・市民生活と福祉】

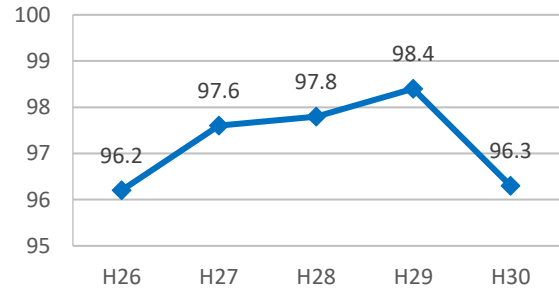


【担当】  
健康推進課

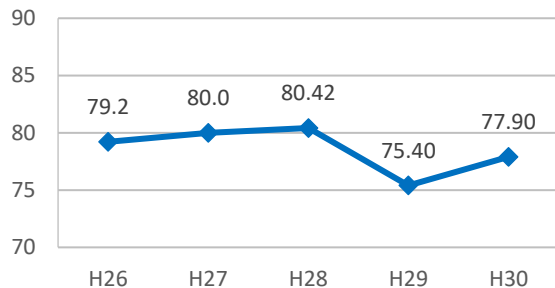
【今後の対応等のコメント】

母子保健推進員や職員による個別受診勧奨、未受診者への電話連絡や家庭訪問等による受診再勧奨を各健診ごとに実施しており、今後も積極的な受診勧奨を継続する。予防接種についても、接種勧奨通知、健診受診時の個別勧奨、期限前の未接種者への接種勧奨等を実施している。また、予防接種のスケジュールを自動作成するモバイルサービスを提供し、国の接種目標値である95%を達成しており、今後も接種勧奨を継続する。

予防接種の接種率  
【%・予防接種の年度実績】



妊婦健康診査受診率  
【%・群馬県母子保健事業報告】

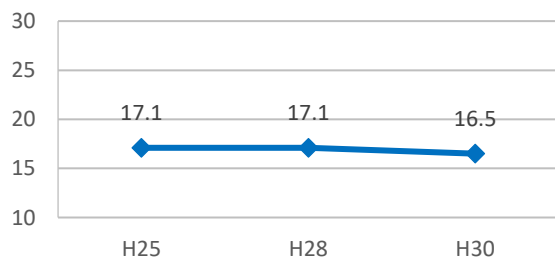


【担当】  
健康推進課

【今後の対応等のコメント】

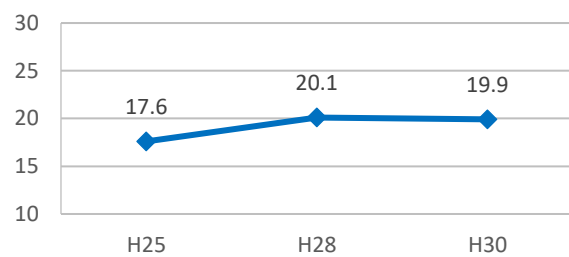
妊娠届出時、妊娠訪問時、ママパパ学級等で受診勧奨を継続している。さらに、子育てモバイルサービスの妊婦向けメール配信を活用して受診勧奨を行う。

子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

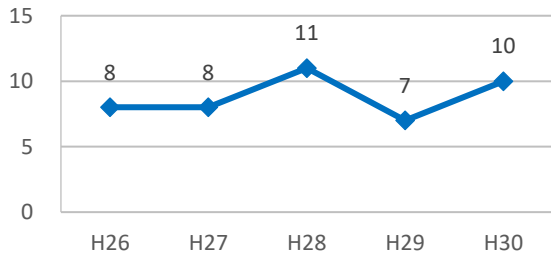
子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的12「心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる」

標準学力テストで全国平均を上回る  
小学校数(国語・算数2教科)6年生  
【校・課データ】

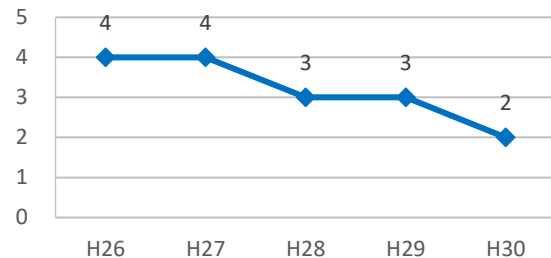


【担当】  
学校教育課

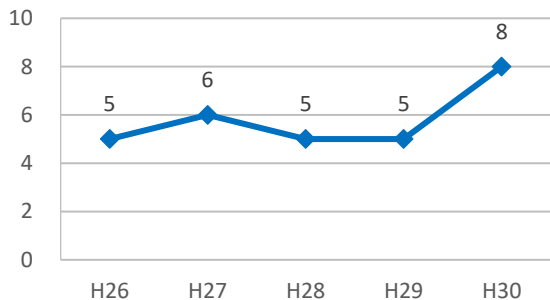
【今後の対応等のコメント】

小学校において、全国平均を上回った学校が、前年度の7校から10校に増加し、目標値を達成することができた。一方、中学校では、市全体の結果としては、全国を上回っているが、校数で見ると目標値には届かなかった。各校において、研修主任・教務主任・学力向上コーディネーターを中心とした「チームによる学力向上」の推進を訪問指導等を通して働きかける。また、市全体として、義務教育9年間を見通した学びの視点から、小中合同授業公開・研究会の場を設け、新学習指導要領に基づく授業改善に向けて指導を継続していく。

標準学力テストで全国平均を上回る  
中学校数(国語、社会、数学、理科、  
英語 5教科)2年生【校・課データ】



新体力テストで全国平均を上回る  
小学校数 5年生【校・新体力テスト  
結果】



【担当】  
学校教育課

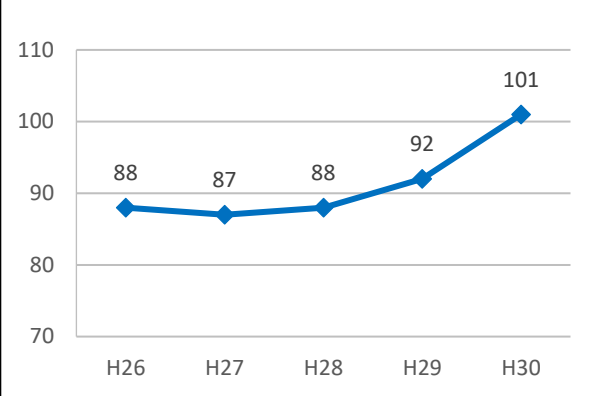
【今後の対応等のコメント】

小学5年生の結果において、全国平均より上回った男子の学校数は11校中7校(前年比+3)、女子の学校数は11校中8校(前年比+2)であった。各校の授業でスモールステップを意識した指導が全体的な体力の向上につながったと考えられる。  
中学2年生の結果において、全国平均より上回った男子の学校数は5校中2校(前年比-1)、女子の学校数は5校中5校(前年比±0)であった。中学校の結果は昨年度とほぼ同様ではあるが、男子の体力向上を意識した授業づくりをしていく必要があると考える。今後、年度はじめの市体力向上推進委員会において、各校の体力向上に向けた取組の情報交換を行い、市全体で体力向上に取り組んでいく。また、「わかる、できる」授業の実践を通して、体力の向上だけでなく、運動の楽しさを味わえるような授業づくりを指導していく。

## 基本目的V「学ぶよろこびや豊かな心を育むまち」

### ◆施策目的13「生涯にわたって学び続けることができるまちになる」

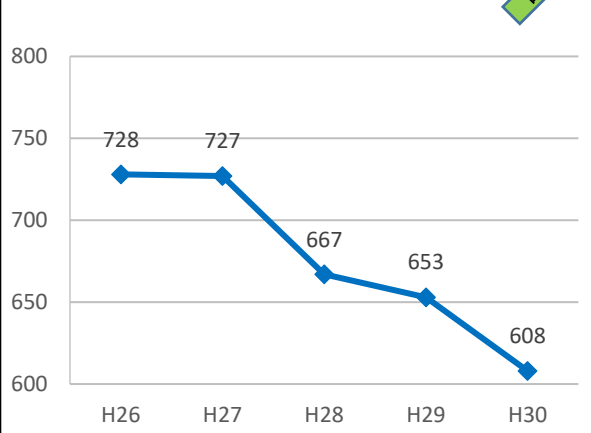
生涯学習ボランティア登録者(団体)  
数【人(団体)・たてばやしのみなびい  
情報】



【担当】  
生涯学習課

【今後の対応等のコメント】  
微増状態である。今後も幅広く情報提供を行うことで、多様な講師の確保と学習者が学びたい講座の提供に努めていく。

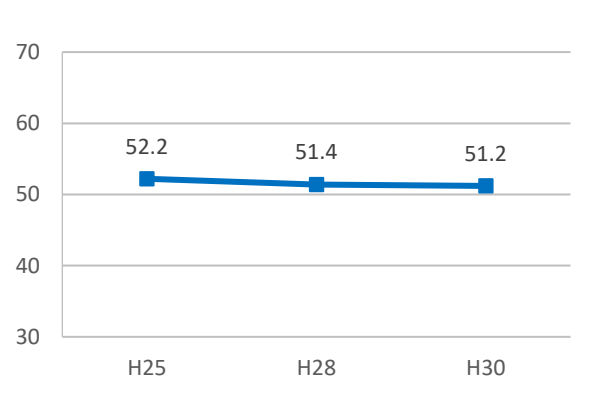
生涯学習関係団体・サークルの登録  
数【団体・たてばやしのみなびい情報】



【担当】  
生涯学習課

【今後の対応等のコメント】  
減少理由は、高齢化による団体の解散や会場の理由から会員募集がしにくい団体が増えていることがあげられる。一方で会員を募集している団体のみを登録団体と示しているの、減少しているように見える部分もある。今後、会員募集がしやすい環境の整備を進めるほか、新たな団体の支援に努めていく。

自分を高めるために何かを勉強したり、  
研究している市民の割合  
【%・市民活動調査】

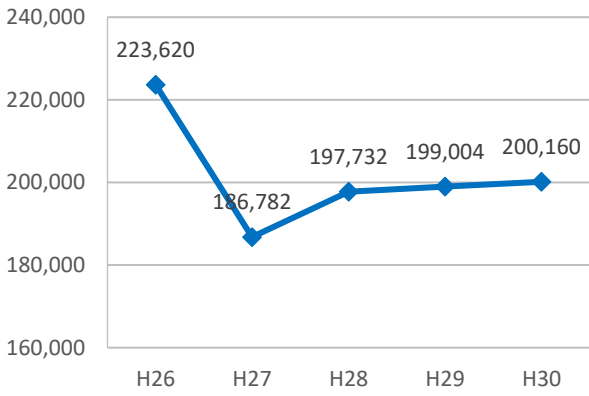


【市民活動調査結果】



◆施策目的14「芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる」

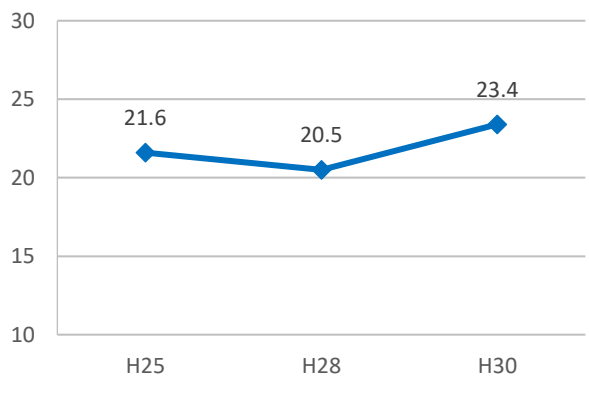
文化施設における年間利用者数  
【人・課データ】



【担当】  
文化振興課

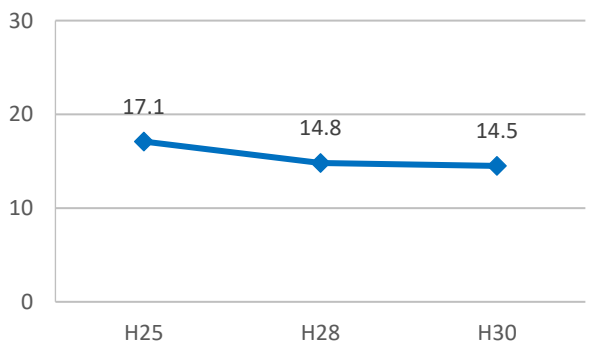
【今後の対応等のコメント】  
平成29年度と比較して利用者が微増した。引き続き利用の促進を図る。

芸術文化活動を行っている市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

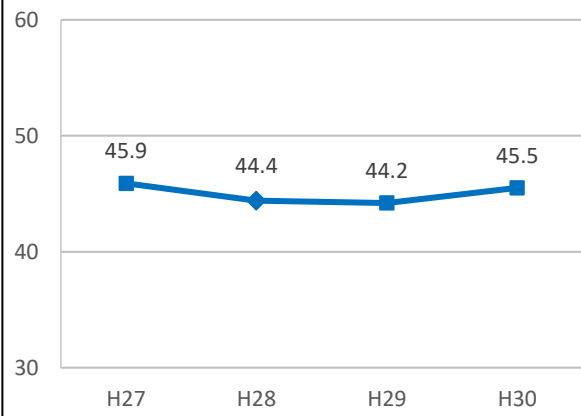
芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ  
人々のために貢献する活動を行っている  
市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的15「楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる」

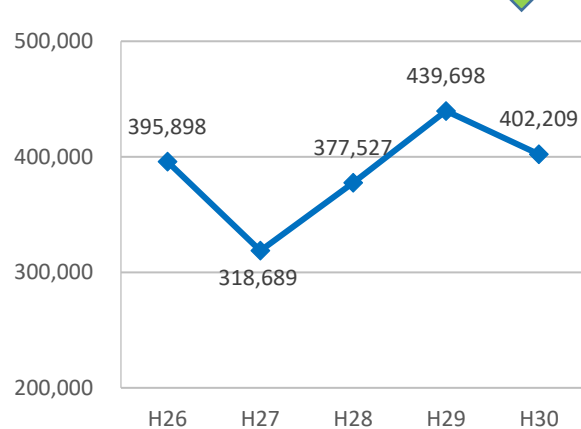
週1回以上のスポーツ実施率  
【%・スポーツに関するアンケート調査】



【担当】  
スポーツ振興課

【今後の対応等のコメント】  
市ホームページや広報紙等を通じて、スポーツへの興味や関心を高められる情報を発信するとともに、スポーツに取り組みやすい機会を提供する。

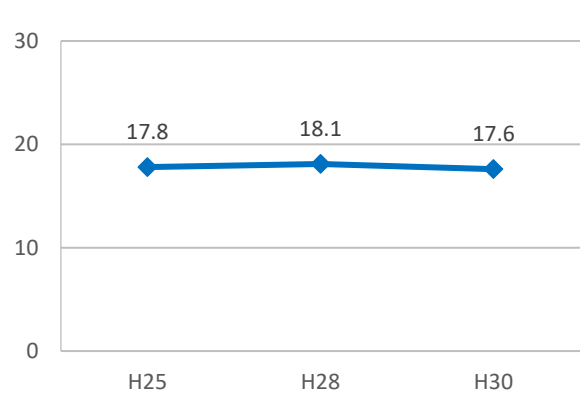
公園競技施設の利用者数  
【人・館林市の教育】



【担当】  
スポーツ振興課

【今後の対応等のコメント】  
各施設の老朽化による不良箇所を調査しながら、計画的な施設の維持管理を行うことで、更なる利用者の増加を図る。

スポーツに取り組む市民のために  
貢献する活動を行っている市民の割合【%・市民活動調査】



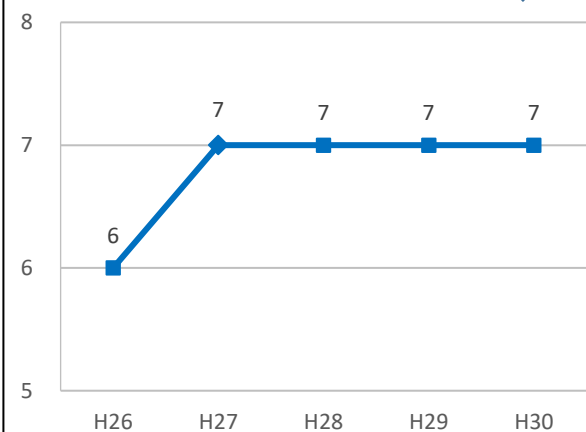
【市民活動調査結果】

## 基本目的VI「便利で快適な住みやすいまち」

### ◆施策目的16「地域性に応じた土地利用ができてきているまちになる」

地区計画の区域数

【地区・都市計画現況調査】

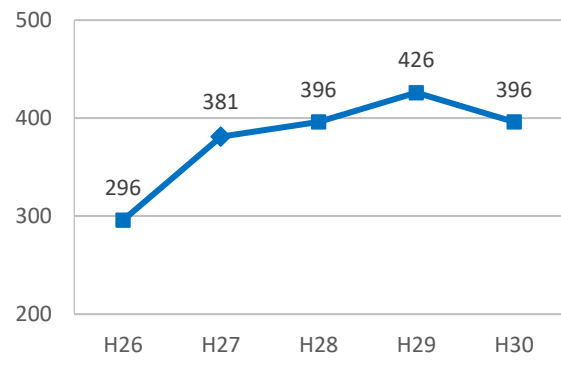


【担当】  
都市計画課

【今後の対応等のコメント】  
赤生田地区地区計画の都市計画決定により増加。引き続き区域数を増加するよう新規地区を検討する。

◆施策目的17「まちなかににぎわいがあるまちになる」

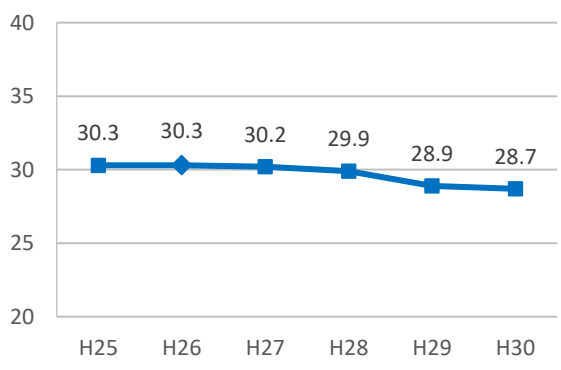
館林東西駅前広場連絡通路の通行量【人/日・課データ】



【担当】  
都市計画課

【今後の対応等のコメント】  
西口広場の整備が進んできたことにより通行量が増加。東口広場の再整備も併せて実施することにより、さらなる増加を目指す。

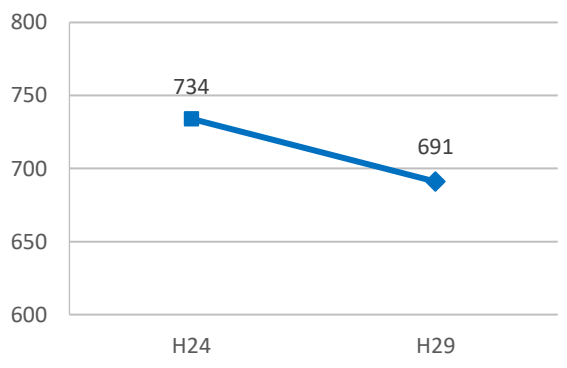
市街化区域内の人口密度【人/ha・課データ】



【担当】  
都市計画課

【今後の対応等のコメント】  
まちなかの人口減少が著しいため。活性化に向けた取り組みを加速させる。

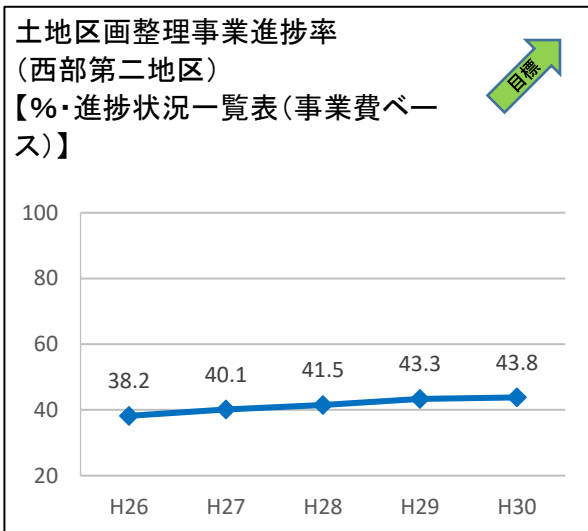
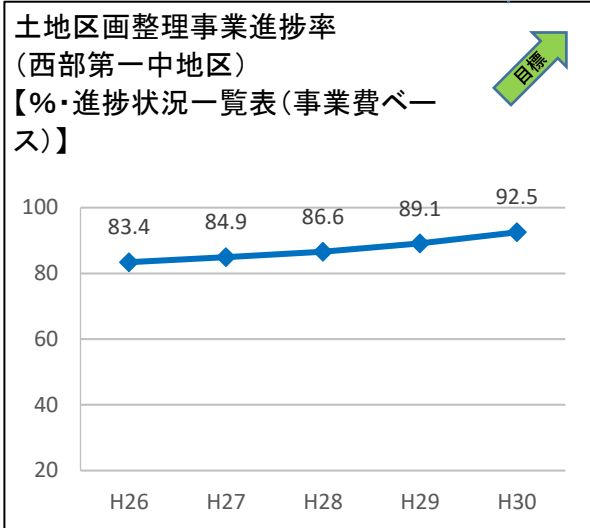
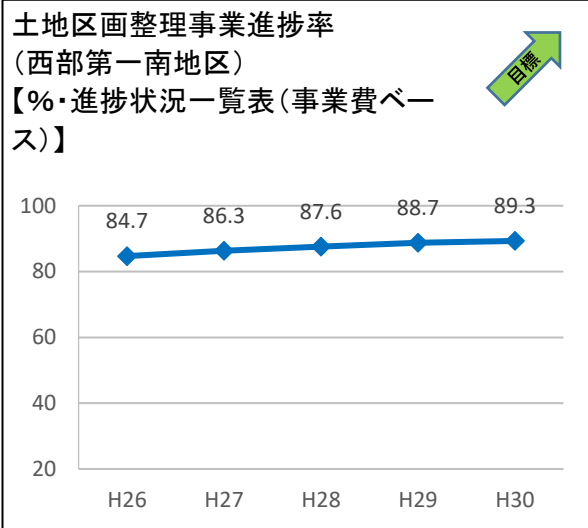
中心市街地内の事業所数【事業所・経済センサス】



【担当】  
商工課

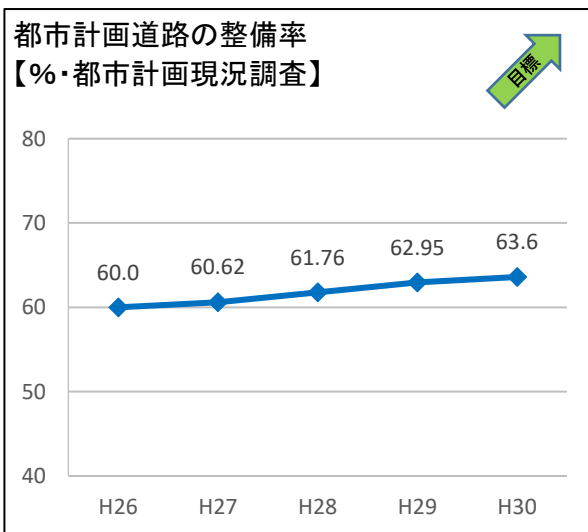
※出典元の統計調査等の集計年次ではないため、平成30年度データなし。

◆施策目的18「人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる」



【担当】  
区画整理課

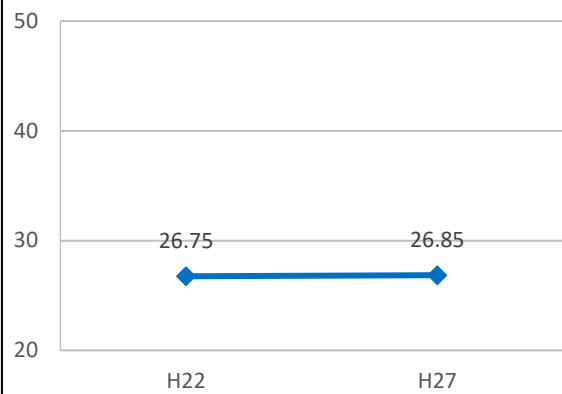
【今後の対応等のコメント】  
事業推進に取り組んでいる。引き続き、早期の完成を目指す。



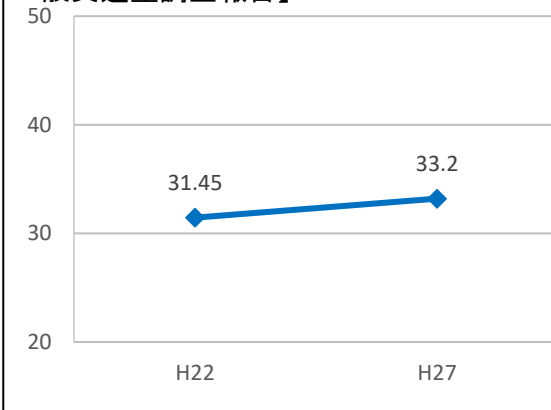
【担当】  
都市計画課

【今後の対応等のコメント】  
引き続き都市計画道路の整備を進める。

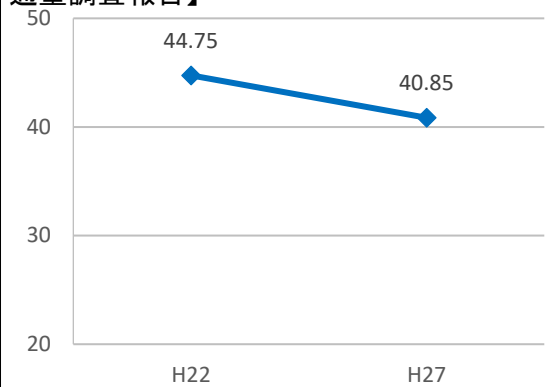
走行速度調査(国道122号)  
【km/h・道路交通センサス  
一般交通量調査報告】



走行速度調査(国道354号)  
【km/h・道路交通センサス  
一般交通量調査報告】



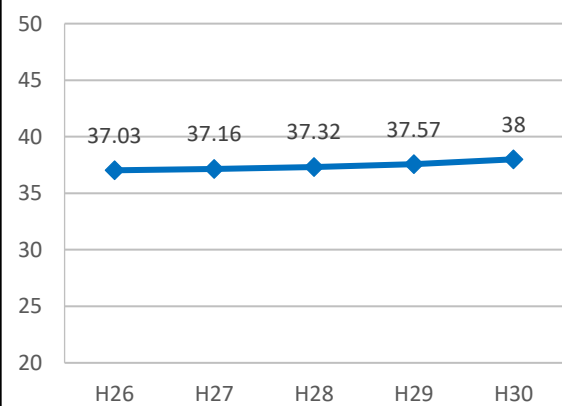
走行速度調査(主要地方道佐野行田  
線)【km/h・道路交通センサス一般交  
通量調査報告】



【担当】  
都市計画課

※出典元の統計調査等の集計年次では  
ないため、平成30年度データなし。

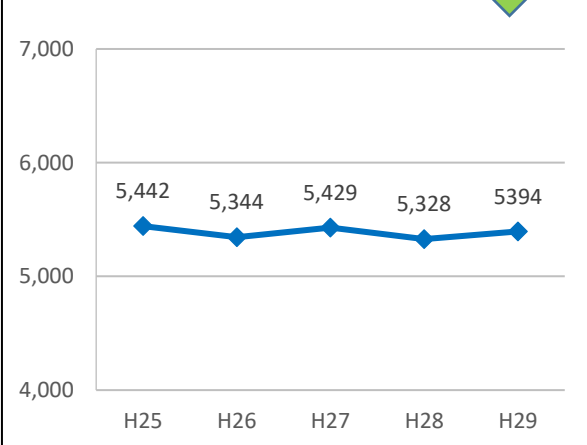
市道の整備率  
【%・館林市道路台帳(改良率)】



【担当】  
道路河川課

【今後の対応等のコメント】  
地域との共創により、必要路線の道路改  
良を進める。

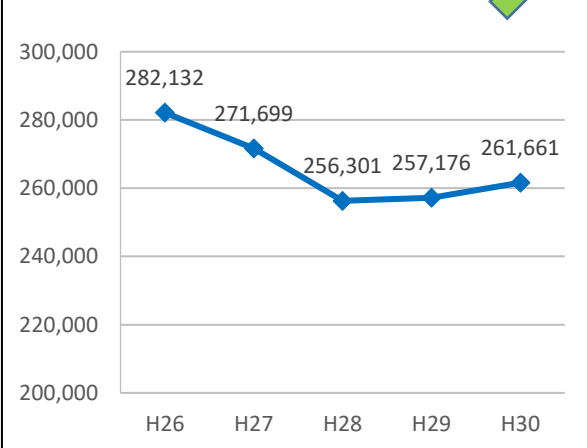
駅(市内)の年間乗降人員  
【千人・統計書】



【担当】  
企画課

【今後の対応等のコメント】  
概ね横ばいで推移しているが、両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会等と連携しながら、鉄道沿線の活性化を図り、鉄道利用者の増加に向けた取組を継続する。

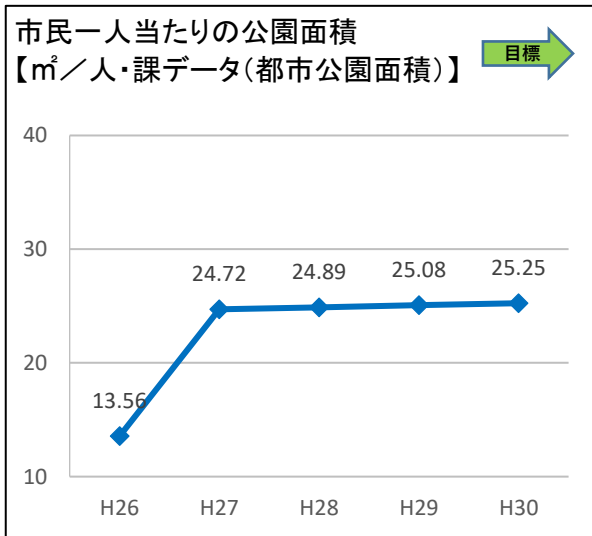
路線バスの年間利用者数  
【人・課データ】



【担当】  
安全安心課

【今後の対応等のコメント】  
利用者数は減少傾向にあるため、近隣四町及び運行事業者と連携し、住民ニーズに合った運行経路及びダイヤの見直しにより、利用者の増加を図る。

◆施策目的19「緑の多い魅力のあるまちになる」



【担当】  
緑のまち推進課

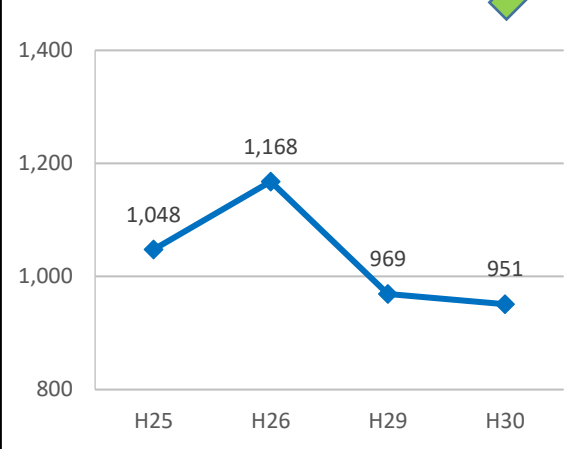
【今後の対応等のコメント】  
平成27年度に県立多々良沼公園が完成し、面積が増加したため。



## 基本目的Ⅶ「出会いと交流のある元気で活力のあるまち」

### ◆施策目的20「新しい産業が起きるまちになる」

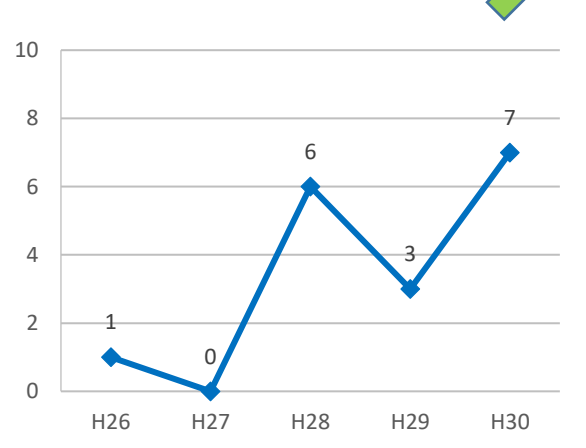
従業員一人当たりの付加価値額  
【万円・工業統計調査】



【担当】  
商工課

【今後の対応等のコメント】  
市内企業の製品・技術開発に対する支援等により、新たな付加価値の向上を図る。

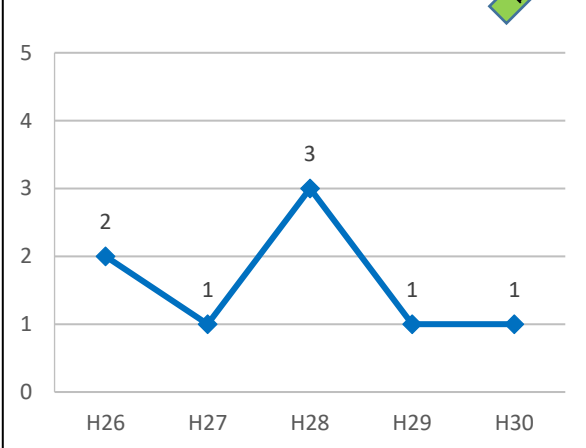
創業塾受講後の市内起業件数  
【件・創業塾受講者追跡調査】



【担当】  
商工課

【今後の対応等のコメント】  
創業のタイミングによる増加。引き続き創業塾を開催し、創業支援を行う。

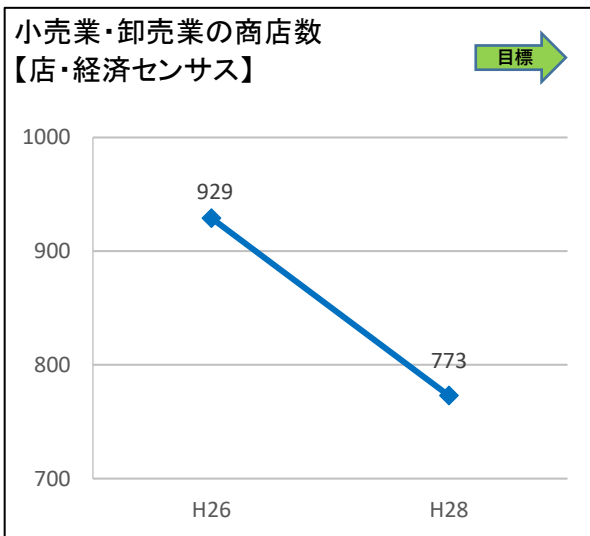
企業立地件数  
【件・工場立地動向調査】



【担当】  
商工課

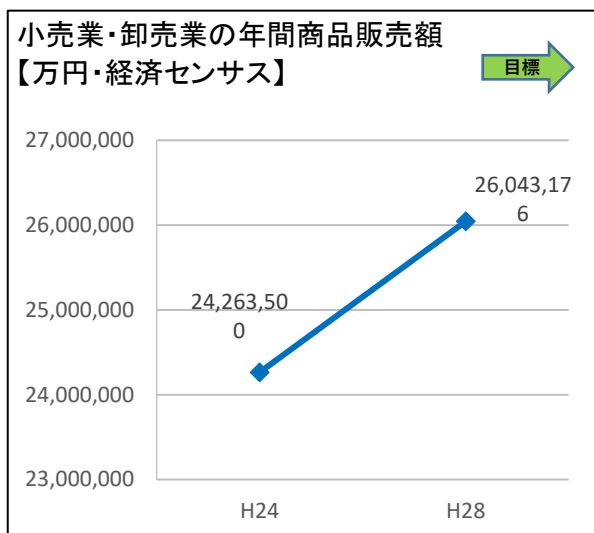
【今後の対応等のコメント】  
宅地建物取引業者と連携し、空き工場用地をホームページで情報発信するなどしてマッチングの促進を図る。

◆施策目的21「事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる」



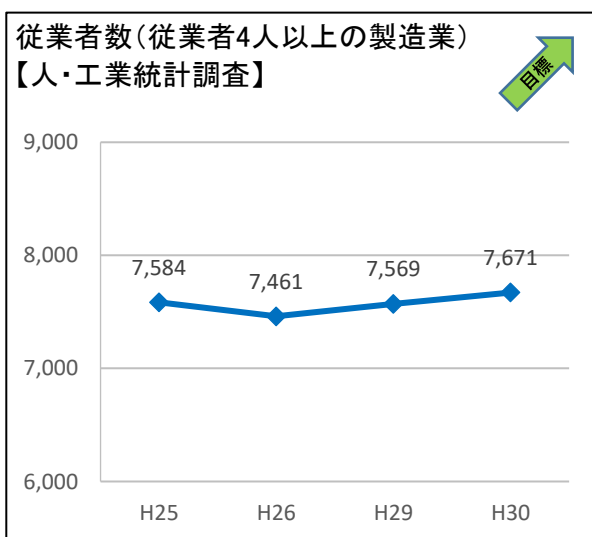
【担当】  
商工課

※出典元の統計調査等の集計年次ではないため、平成30年度データなし。



【担当】  
商工課

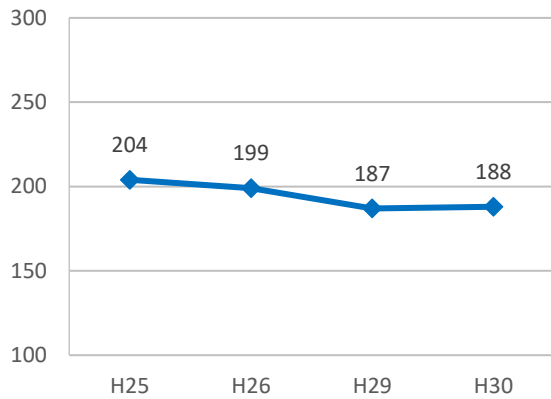
※出典元の統計調査等の集計年次ではないため、平成30年度データなし。



【担当】  
商工課

【今後の対応等のコメント】  
緩やかな景気回復の基調によるもの。

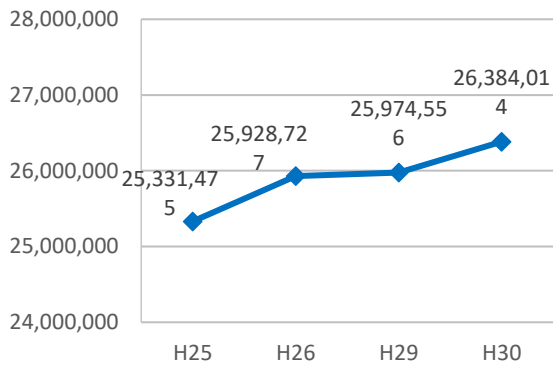
事業所数(従業員4人以上の製造業)  
【事業所・工業統計調査】



【担当】  
商工課

【今後の対応等のコメント】  
事業者の高齢化や後継者不足によるもの。事業承継等の支援により事業所数減少の抑制を図る。

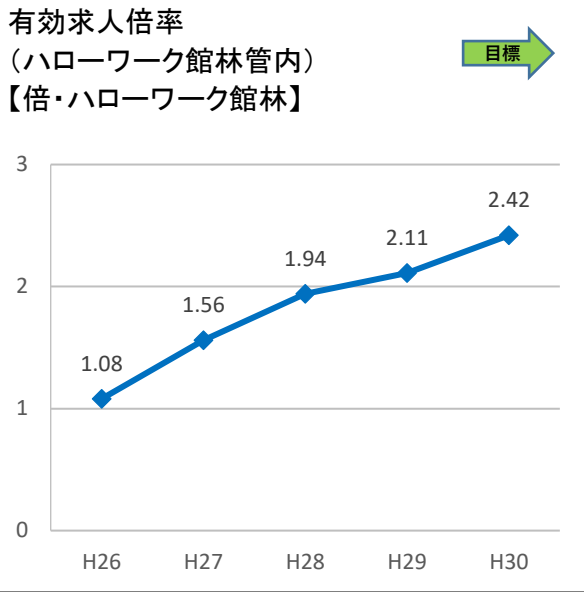
製造品出荷額等  
(従業員4人以上の製造業)  
【万円・工業統計調査】



【担当】  
商工課

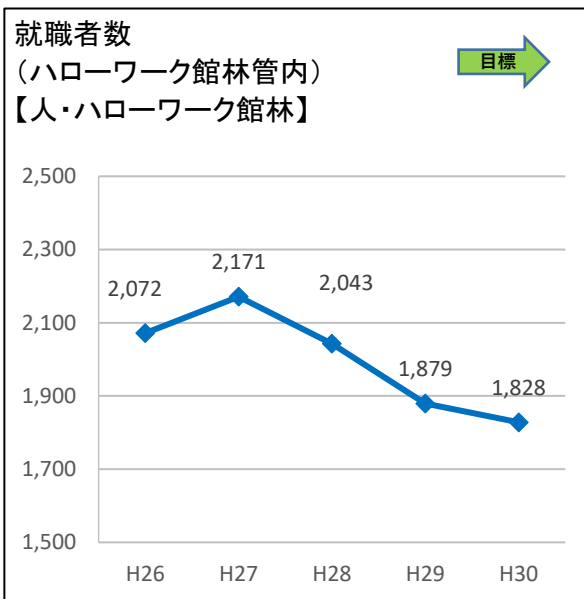
【今後の対応等のコメント】  
市内製造業において化学、金属製品、輸送機器等の出荷額が減少。

◆施策目的22「安定した労働環境が整っているまちになる」



【担当】  
産業政策課

【今後の対応等のコメント】  
求職者数が少ないため。市内事業所の  
人手不足解消のため、市外からの求職  
者にも広く、市内事業所について周知に  
努める。



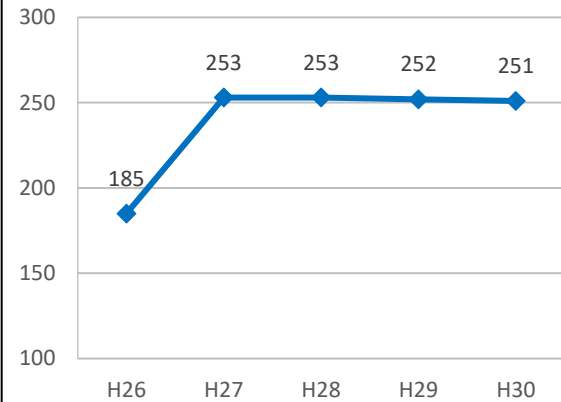
【担当】  
産業政策課

【今後の対応等のコメント】  
就職者数の増加に向けて市内企業を  
知ってもらう機会をつくるため、インターン  
シップやガイダンスを行う。

◆施策目的23「農産物を安定して提供できるまちになる」

認定農業者数

【経営体・課データ】



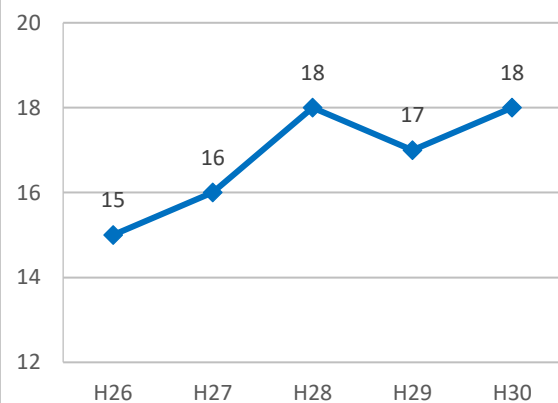
【担当】  
農業振興課

【今後の対応等のコメント】

経営所得安定対策事業の制度改正に伴い一時的な増加がみられるが、農業従事者の高齢化と新規就農者が少ない状況は変わらないため、関係機関と連携して担い手の育成を図っていく。

農業法人数

【経営体・課データ】



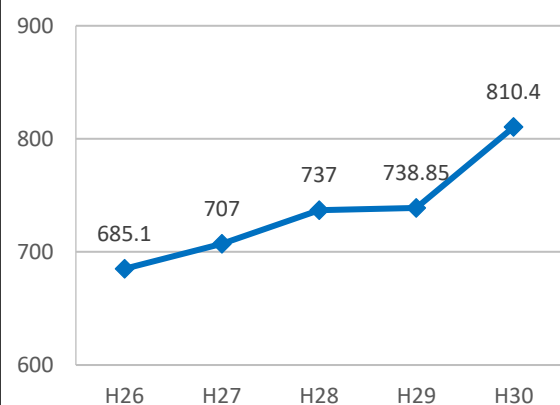
【担当】  
農業振興課

【今後の対応等のコメント】

関係機関と連携し、法人化へ誘導を図っていく。

農用地利用集積面積

【ha・農業委員会データ】

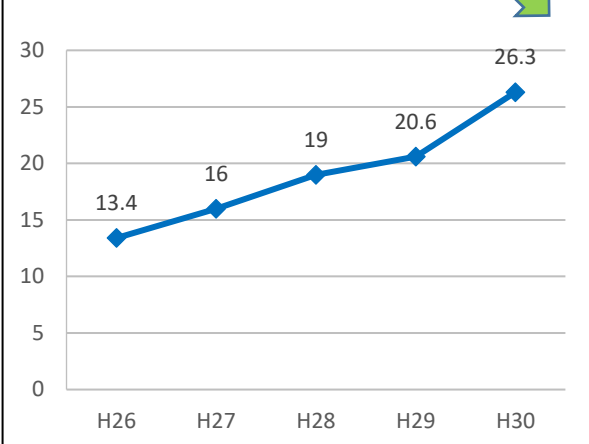


【担当】  
農業委員会

【今後の対応等のコメント】

今後は農地中間管理機構を活用した農地集約・集積を進める。

荒廃農地の面積  
【ha・農業委員会データ】



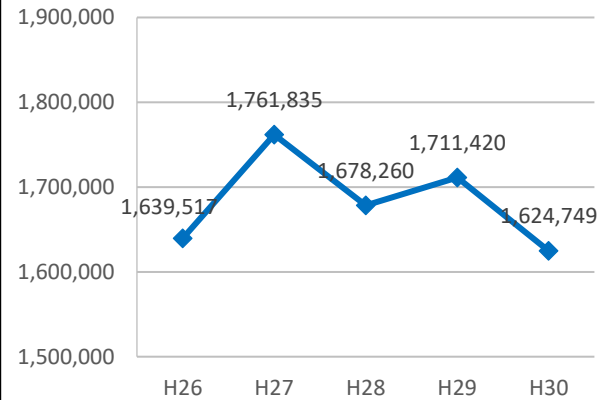
【担当】  
農業委員会

【今後の対応等のコメント】  
高齢化や担い手不足により増加した。対策として、農地中間管理機構を活用し、担い手に農地を集積していく。

◆施策目的24「多くの人を訪れたい個性と魅力のあるまちになる」

観光客入込数

【人・観光入込客数調査結果】



【担当】

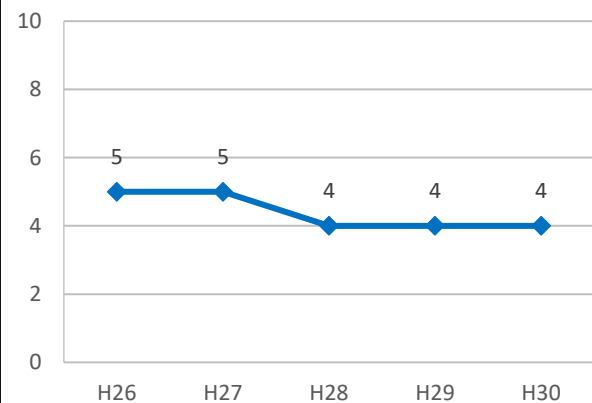
つつじのまち観光課

【今後の対応等のコメント】

イベントが一つなくなったため減少している。今後も広報や周知を行っていく。

観光ボランティアガイドの団体数

【団体・ボランティア団体総会資料】



【担当】

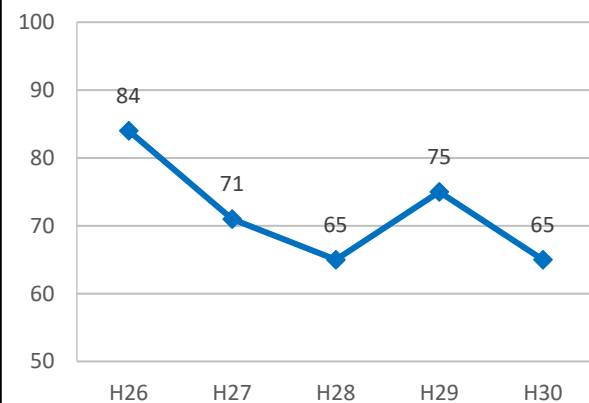
つつじのまち観光課

【今後の対応等のコメント】

H30年度に活動していない団体があり、おおむね横ばいで推移しているが、日本遺産の認定を契機としてボランティア団体の育成・連携を進めていく。

観光ボランティアガイドの登録者数

【人・ボランティア団体総会資料】



【担当】

つつじのまち観光課

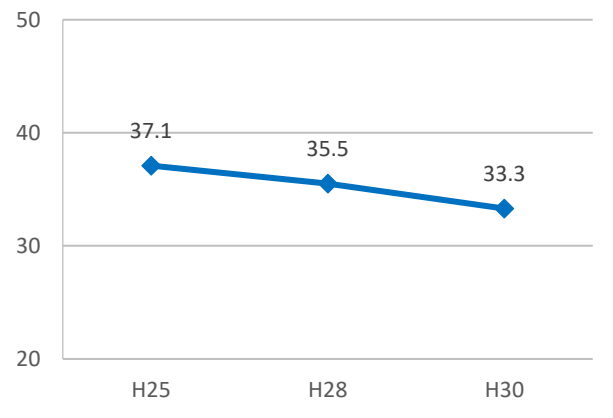
【今後の対応等のコメント】

活動していない団体があり、さらに登録者数も減少傾向となっている。今後は日本遺産の認定を契機として、ボランティア団体と連携しながらボランティアガイドの育成を進めたい。

地域の行事などに参加している市民の割合【%・市民活動調査】



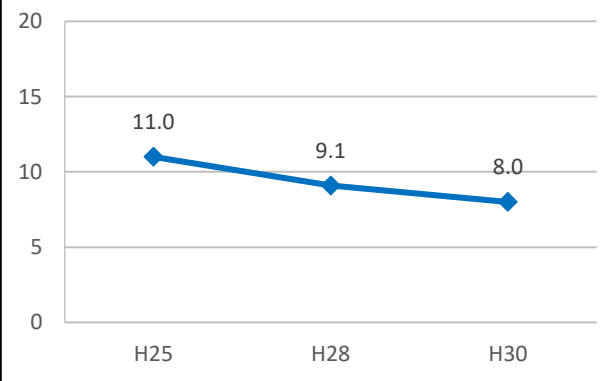
【市民活動調査結果】



国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

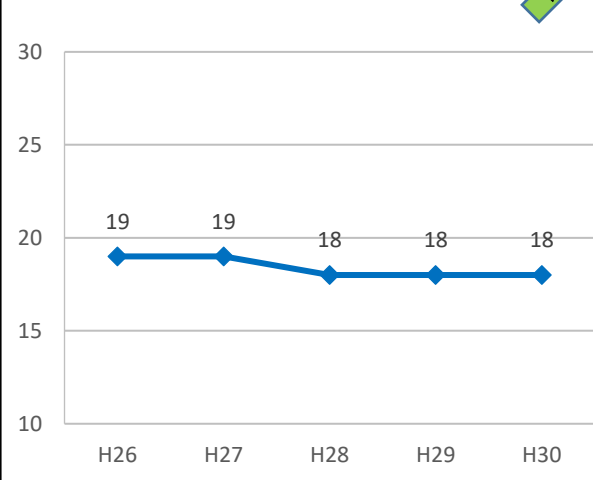




## 基本目的Ⅷ「まちづくりのしくみが整い発展できるまち」

### ◆施策目的25「まちづくりを市民と行政が共創して行うまちになる」

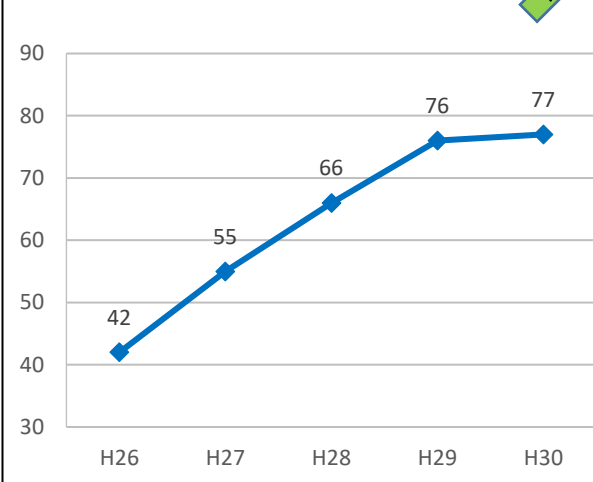
館林市内に主たる事務所がある  
NPO法人数【法人数・課データ】



【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
新規登録と解散があり、法人数の変化はない。法人登録の有無にかかわらず、NPOが充実した活動を行っていることが重要であるため、今後も支援を続けていく。

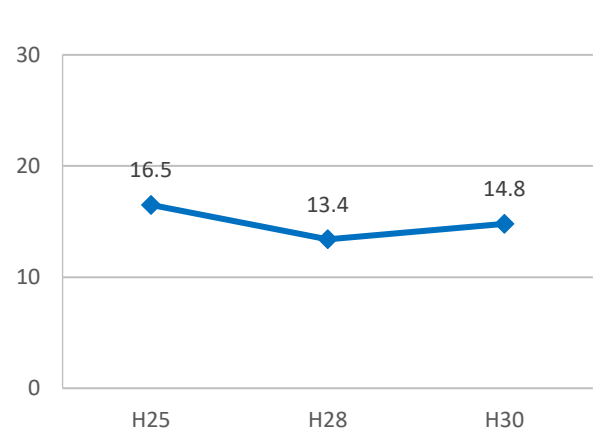
「ちよいボラ」登録者数  
【人・課データ】



【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
気軽にメールで申し込めるため登録者数が増加している。ボランティアとボランティアを求める人をつなぐシステムを有効活用できるよう周知を図っていく。

共に魅力的なまちを創るために  
活動している市民の割合  
【%・市民活動調査】

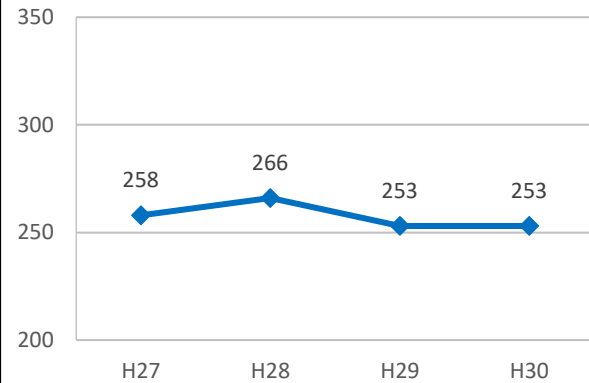


【市民活動調査結果】

◆施策目的26「人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる」

在住外国人を支援する市民の数  
(個人等)

【人・館林市国際交流協会資料】

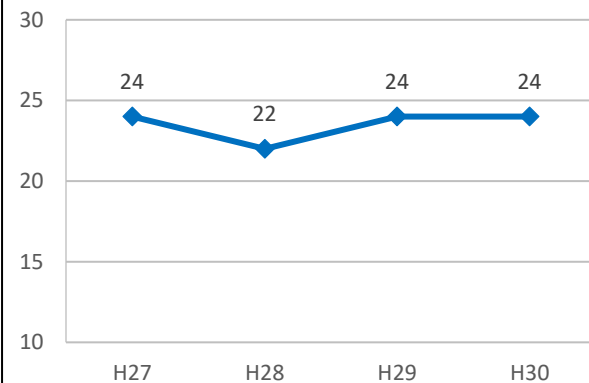


【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
国際交流協会会員が積極的に新規会員を募集しており、今後も継続する。協会の趣旨や事業を市民にさらに周知し、協力を求めている。

在住外国人を支援する市民の数  
(法人)

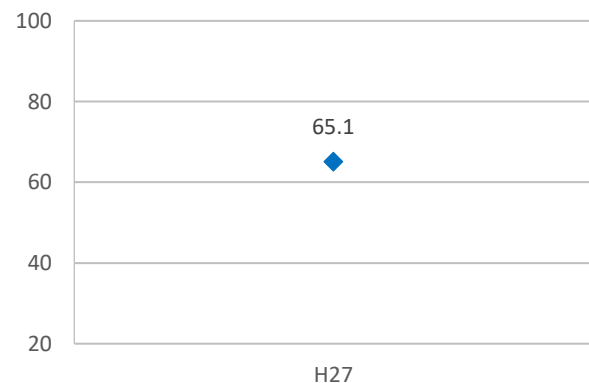
【団体・館林市国際交流協会資料】



【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
企業への周知がさらに必要であり、外国人を雇用している企業に協会の日本語教室を周知し、連携・協力を検討する。

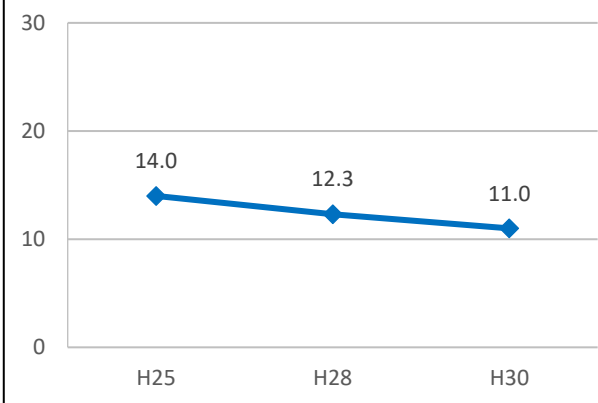
男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)【%・男女共同参画社会に関する市民意識調査】



【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
5年に一度調査を実施。第5次基本計画に基づき今後も男女共同参画について啓発を続ける。男性のための講座も継続していく。

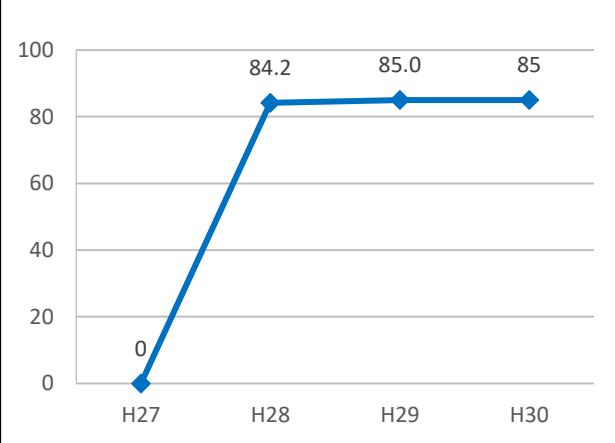
人権が尊重される平和な社会をつくる  
ための活動をしている市民の割合  
【%・市民活動調査】



【市民活動調査結果】

◆施策目的27「高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる」

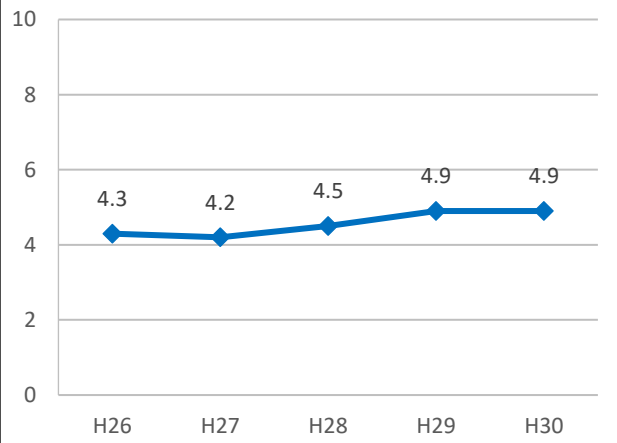
第六次行政改革大綱の進捗状況  
【%・第六次行政改革大綱実施計画書】



【担当】  
企画課

【今後の対応等のコメント】  
概ね順調に取組が推進されているが、引き続き第六次行政改革大綱を着実に推進するとともに、次期行政改革大綱の策定に向けて取り組む。

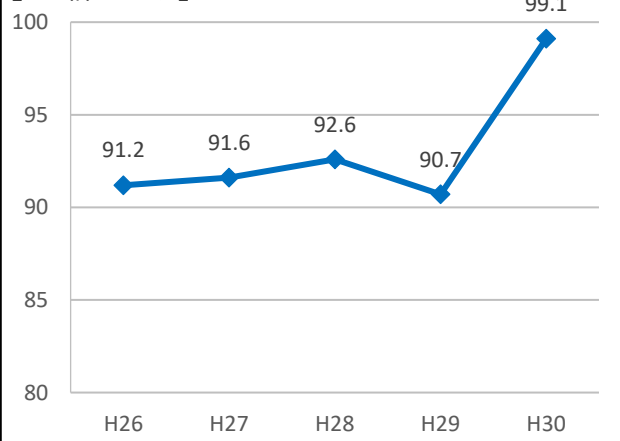
実質公債費比率  
(早期健全化基準25%)  
【%・課データ】



【担当】  
財政課

【今後の対応等のコメント】  
前年度比増減なし。今後とも、市債の発行における精査等により、健全財政に努める。

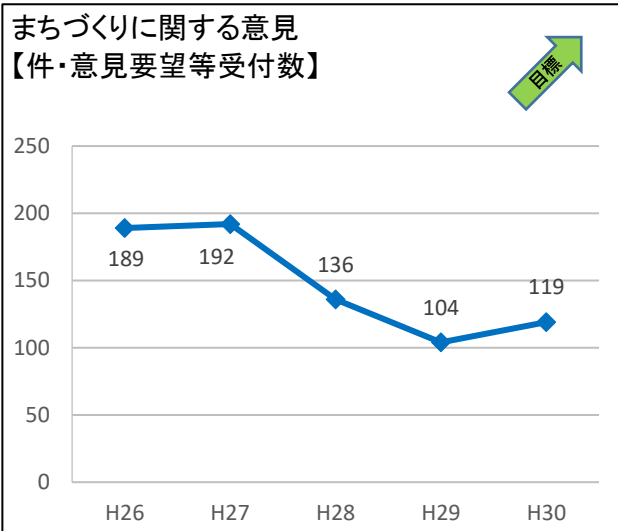
将来負担比率  
(早期健全化基準350%)  
【%・課データ】



【担当】  
財政課

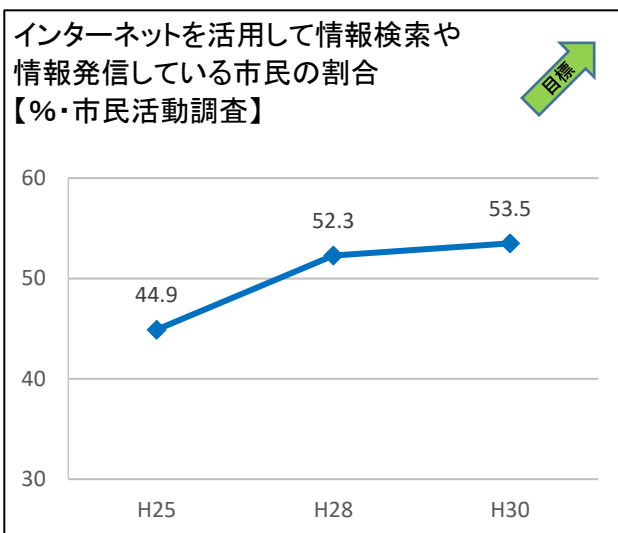
【今後の対応等のコメント】  
前年度比8.4ポイント増の要因は、債務負担行為に基づく支出予定額の像などによる。今後とも、歳入の確保に努め、財政の健全性を確保する。

◆施策目的28「開かれた行政となり、透明性の高いまちになる」

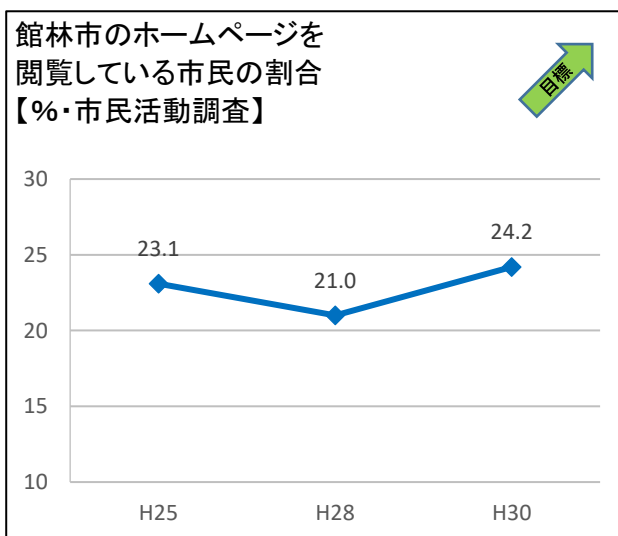


【担当】  
市民協働課

【今後の対応等のコメント】  
市政に生かすため、電子メールや文書、電話、面談等のあらゆる手段によって意見要望等を受け付ける。



【市民活動調査結果】



【市民活動調査結果】

## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考	
環境と安全	I	より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち				
		01 良好な環境のなかで、快適に暮らすことができるまちになる				
			・ BOD数値(城沼中央の水質)		×	
			・ 下水道水洗化率		○	
			・ CO2排出の抑制を心がけている市民の割合		—	市民活動調査
			・ 良好な環境をつくるための活動をしている市民の割合		—	市民活動調査
		02 ごみを減らし、資源を生かすまちになる				
			・ 市民一人あたりごみの排出量(1日あたり)		○	
			・ 資源化率		○	
			・ ごみ減量のためにさまざまな工夫をしている市民の割合		—	市民活動調査
			・ 地域として、ごみの発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいる市民の割合		—	市民活動調査
		03 安全でおいしい水が安定的に供給されているまちになる				
			・ 有効率(有効水量/総配水量)		×	
		04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる				
			・ 自主防災組織設置率		○	
			・ 幹線排水路の整備率		○	
			・ 公共下水道雨水きよの整備率		○	
			・ 消防車の平均到着時間		×	
			・ 救急車の平均到着時間		○	
			・ 刑法犯認知件数		○	
			・ 交通事故発生件数		○	
			・ 消費生活センター出前講座回数		×	
			・ 災害に備えさまざまな準備をしている市民の割合		—	市民活動調査
			・ ご近所の方たちと声かけをしている市民の割合		—	市民活動調査
			・ 自主防災組織などに参加している市民の割合		—	市民活動調査
			・ 地域ぐるみで自主防犯活動などを行っている市民の割合		—	市民活動調査

## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考	
福祉と健康	II	思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち				
		05 地域で支えあい、誰もが自立できるまちになる				
			・ 福祉ボランティア登録者数	○		
			・ 福祉NPO法人数	×		
			・ 小地域ネットワーク設置数	—		
			・ 小地域ネットワーク協力者数	—		
			・ 地域のなかで相談したり、助け合える友人・知人がいる市民の割合	—		市民活動調査
			・ 地域の困った問題を、近所で協力して取り組んでいる市民の割合	—		市民活動調査
		06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる				
			・ 第1号被保険者に占める要介護認定及び要支援認定者の割合	×		
			・ 高齢者の就業割合	—		
			・ 生きいきサークル活動団体数	○		
			・ 生きいきサークル活動人数	○		
			・ 介護支援ボランティア活動人数	○		
			・ 高齢者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	—		市民活動調査
		07 障がい者が自立した生活をおくることができるまちになる				
			・ 民間企業における障がい者の実雇用率	○		
			・ 法定雇用率達成企業の割合	○		
			・ 障がい者などが、住みなれたまちで、いきいきと生活するために地域で支えあう活動をしている市民の割合	—		市民活動調査
		08 互いに助けあい、安心して生活できるまちになる				
			・ 国民年金保険料納付率	○		
			・ 国民健康保険税収納率	○		
			・ 生活保護受給世帯から自立した世帯数	○		
			・ 児童扶養手当受給者のうち自立した受給者数	○		

## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考			
福祉と健康	III	心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち						
		09 地域全体で健康づくりに取り組むまちになる						
			健康づくりグループ活動団体数	×				
			健康づくりグループ活動人数	×				
			大腸がん検診受診率	×				
			子宮頸がん検診受診率	×				
			乳がん検診受診率	×				
			生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合	×				
			メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群の割合	×				
			健康の維持や体を鍛えるために運動をしている市民の割合	—		市民活動調査		
			定期的に健康診断を受けている市民の割合	—		市民活動調査		
			心身ともに元気で暮らせるよう、地域の人々とともに健康づくり活動をしている市民の割合	—		市民活動調査		
		10 適切な医療を受けることができるまちになる						
			かかりつけ医所持率	—				
			かかりつけ歯科医所持率	—				
			救急救命士の有資格者数(館林地区消防組合)	○				
			普通救命講習受講者数	○				
			周産期死亡率	○				
		子育てと学び	IV	子どもたちが健やかに成長できるまち				
				11 子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる				
	乳幼児健康診査受診率			○				
	予防接種の接種率(麻しん風しん)			○				
	妊婦健康診査受診率			×				
	子育て中の親を応援する活動を行っている市民の割合			—		市民活動調査		
	子どもの心身の健全な成長を応援する活動を行っている市民の割合			—		市民活動調査		
12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる								
	標準学力テストで全国平均を上回る小学校数(国語・算数2教科)6年生			○				
	標準学力テストで全国平均を上回る中学校数(国語、社会、数学、理科、英語 5教科)2年生			×				
	新体力テストで全国平均を上回る小学校数 5年生	○						
	新体力テストで全国平均を上回る中学校数 2年生	○						



## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考	
子育てと学び	V	学ぶよるこびや豊かな心を育むまち				
		13 生涯にわたって学び続けることができるまちになる				
			・ 生涯学習ボランティア登録者(団体)数		○	
			・ 生涯学習関係団体・サークルの登録数		×	
			・ 自分を高めるために何かを勉強したり、研究している市民の割合		—	市民活動調査
		14 芸術や文化、歴史や伝統を知り親しむことで、郷土に愛着と誇りが持てるまちになる				
			・ 文化施設における年間利用者数		×	
			・ 芸術文化活動を行っている市民の割合		—	市民活動調査
			・ 芸術や文化などに学ぶ意欲を持つ人々のために貢献する活動を行っている市民の割合		—	市民活動調査
		15 楽しんでスポーツができる環境があり、スポーツが盛んなまちになる				
			・ 週1回以上のスポーツ実施率		×	
			・ 公園競技施設の利用者数		○	
			・ スポーツに取り組む市民のために貢献する活動を行っている市民の割合		—	市民活動調査
		都市と産業	VI	便利で快適な住みやすいまち		
16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる						
	・ 地区計画の区域数			○		
17 まちなかににぎわいがあるまちになる						
	・ 館林東西駅前広場連絡通路の通行量			○		
	・ 市街化区域内の人口密度			×		
	・ 中心市街地内の事業所数			—		
18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる						
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一南地区)			○		
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第一中地区)			○		
	・ 土地区画整理事業進捗率(西部第二地区)			○		
	・ 走行速度調査(国道122号)			—		
	・ 走行速度調査(国道354号)			—		
	・ 走行速度調査(主要地方道佐野行田線)			—		
	・ 都市計画道路の整備率		○			
	・ 市道の整備率		○			
	・ 駅(市内)の年間乗降人員		×			
	・ 路線バスの年間利用者数		×			

## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考	
都市と産業	VI	19 緑の多い魅力のあるまちになる				
		・	市民一人当たりの都市公園面積	○		
	出会いと交流のある元気で活力のあるまち					
	20 新しい産業が起きるまちになる					
	・	従業員一人当たりの付加価値額	×			
	・	創業塾受講後の市内起業件数	○			
	・	企業立地件数	×			
	21 事業者の活発な活動により、商工業が盛んなまちになる					
	・	小売業・卸売業の商店数	—			
	・	小売業・卸売業の年間商品販売額	—			
	・	従業者数(従業者4人以上の製造業を営む事業所時務める従業者数)	○			
	・	事業所数(従業者4人以上の製造業を営む事業所数)	×			
	・	製造品出荷額等	○			
	22 安定した労働環境が整っているまちになる					
	VII	・	有効求人倍率(ハローワーク館林管内)	○		
		・	新規就職者数(ハローワーク館林管内)	×		
	23 農産物を安定して提供できるまちになる					
	・	認定農業者数	○			
	・	農業法人数	○			
	・	農用地利用集積面積	○			
	・	荒廃農地の面積	×			
	24 多くの人が訪れたい個性と魅力のあるまちになる					
	・	観光客入込数	×			
	・	観光ボランティアガイドの団体数	×			
	・	観光ボランティアガイドの登録者数	×			
	・	地域の行事などに参加している市民の割合	—	市民活動調査		
	・	国内外から来訪した方たちと交流をすすめる活動をしている市民の割合	—	市民活動調査		

## 第五次総合計画後期基本計画 アウトカム別指標リスト

部会	基本目的	施策目的	アウトカム	基準値に対する評価 (H30年度)	備考	
計画の推進	VIII	まちづくりのしくみが整い発展できるまち				
		25 まちづくりを市民と行政が共創しておこなうまちになる				
				・ 館林市内に主たる事務所があるNPO法人数	×	
				・ 「ちよいボラ」登録者数	○	
				・ 共に魅力的なまちを創るために活動している市民の割合	—	市民活動調査
		26 人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよいまちになる				
				・ 在住外国人を支援する市民の数(個人等)	×	
				・ 在住外国人を支援する市民の数(法人)	×	
				・ 男性優位と思う市民の割合(男女の地位の平等感)	—	
				・ 人権が尊重される平和な社会をつくるための活動をしている市民の割合	—	市民活動調査
		27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる				
				・ 第六次行政改革大綱の進捗状況	○	
				・ 財政指標(健全化判断比率)早期健全化基準値内の維持		
				・ 実質公債費比率 (早期健全化基準 25%)	×	
				・ 将来負担比率 (早期健全化基準 350%)	×	
		28 開かれた行政となり、透明性の高いまちになる				
				・ まちづくりに関する意見	×	
				・ インターネットを活用して情報検索や情報発信している市民の割合	—	市民活動調査
				・ 館林市のホームページを閲覧している市民の割合	—	市民活動調査